

令和 7 年度

工 事 設 計 仕 様 書

1 工 事 名 水路改修工事（その2）

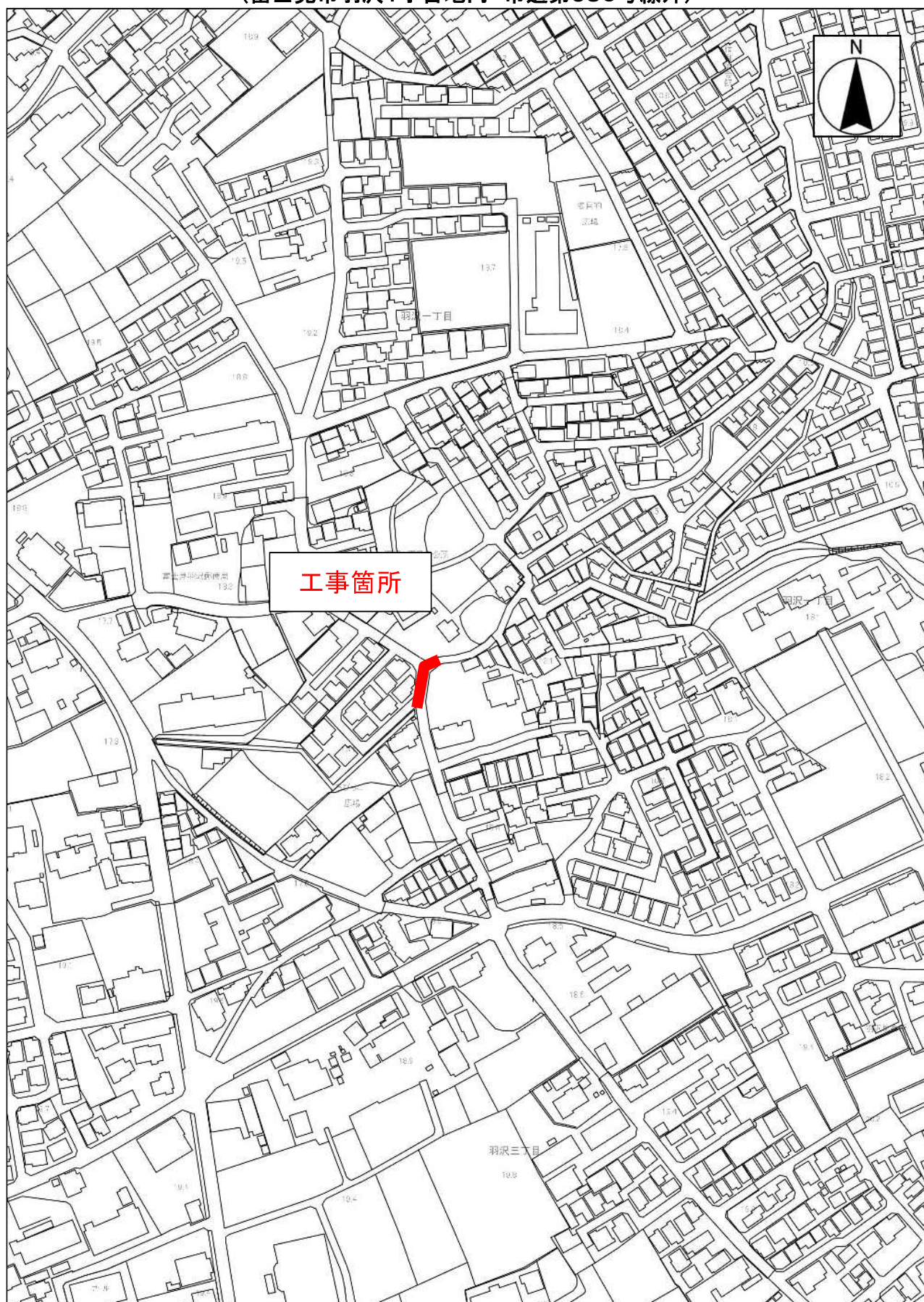
2 工事箇所 富士見市羽沢1丁目地内 市道第386号線外

工事大要

変更工事 の 大 要	
工 事 の 大 要	水路改修工事 工事延長 L=27.82m ・管渠工 ボックスカルバート敷設 L=27.28m ・点検孔工 1式 ・導水管接続孔 1式 ・付帯工 1式

富 士 見 市

案 内 図
(富士見市羽沢1丁目地内 市道第386号線外)



縮尺 1:2500

積 算 情 報 書

工 事 名	令和 7 年度 水路改修工事（その2）
変 更 回 数	
諸 経 費 区 分	公共 令和06年度
工 種 区 分	下水道工事（2）
単 価 適 用 年 月 日	令和07年07月01日付 公共
単 価 地 区	県南(川越県土整備)
機 損 適 用 年 月 日	令和06年10月以降適用
歩 掛 適 用 年 月 日	令和06年10月 公共／令和06年10月 下水道
備 考	施工地域補正：DID（市街地補正）(1)-1 交通誘導員：5名／日で計上

本工事費内訳書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
下水道工事（2）01	1	式			
管渠工	1	式			A 1 号
点検孔工	1	式			処： A 2 号
導水管等接続工	1	式			A 3 号
付帯工	1	式			処： A 4 号
交通誘導警備員	1	式			処： A 5 号
直接工事費計					
共通仮設費計	1	式			
共通仮設費(積上げ)	1	式			
運搬費	1	式			
仮設材運搬工	34.802	t			C 38 号
役務費	1	式			
借地料	1	式			
技術管理費	1	式			
★土壌分析試験費 六価Cr溶出試験〔配合設計時〕	1	検体			
共通仮設費(率化)	1	式			
共通仮設費率分	1	式			
純工事費	1	式			
現場管理費	1	式			

[illegible]

第 2 号 B代価

ボックスカルバート据付工

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
ボックスカルバート □900×1100・L=1.0m	1	本			
ボックスカルバート □900×900・L=1.0m	14	本			
ボックスカルバート □900×900・L=1.0m・標準・点検孔穴	3	本			
ボックスカルバート □900×900・L=1.0m・受フラット・点検孔穴	1	本			
ボックスカルバート □900×900・L=1.0m・差フラット・点検孔穴	1	本			
ボックスカルバート □900×900・L=0.6m・短尺	2	本			
ボックスカルバート □900×900・L=0.734m・短尺	1	本			
ボックスカルバート □900×900・L=1.0m・斜切・受付	1	本			
ボックスカルバート □900×900・L=1.0m・斜切・差付	1	本			
ボックスカルバート □900×900・L=0.754m・斜切・受付	1	本			
ボックスカルバート □900×900・L=0.755m・斜切・差付	1	本			
ボックスカルバート □900×900・L=0.755m・斜切・受付	1	本			
ボックスカルバート □900×900・L=0.79m・斜切・差付	1	本			
ボックスカルバート □900×900・L=0.69m・斜切・差付	1	本			
Pca閉塞壁 200×200×1160	2	枚			
Pca閉塞壁 320×200×1160	2	枚			
プレキャスト基礎板 1800×100・L=1.0m・既設接続	1	枚			
プレキャスト基礎板 1360×100・L=1.5m・標準	13	枚			
★再生クラッシャーラン RC-40	0.31	m3			

ボックスカルバート据付工

1 式 当り

[illegible]

管路土留工

1 式 当り

[illegible]

管路路面覆工

1 式 当り

[illegible]

開削水替工

[illegible]

点検孔

明細単価番号
基 準

[illegible]

マンホール工

1 式 当り

[illegible]

導水管工

1 式 当り

[illegible]

道路復旧工

1 式 当り

[illegible]

既設構造物取壊処理工

(, 処:) 1 式 当り

[illegible]

既設水路接続処理工

1 式 当り

[illegible]

仮設工

1 式 当り

[illegible]

流動化処理土充填

1 m3 当り

[illegible]

第 4 号 C代価

埋戻工 覆工基礎部・RC-40

1 m3 当り

[illegible]

第 5 号 C代価

埋戻工 置換基礎部・RC-40

1 m3 当り

[illegible]

埋戻工 再生砂

1 m3 当り

[illegible]

第 10 号 C代価

発生土処分工

(, 処:)

100	m3 当り
-----	-------

[illegible]

第 11 号 C代価

アルミ矢板建込・引抜工 掘削深2.5m以下・L=2.5m・2段

1 m 当り

[illegible]

第 12 号 C代価

軽量金属支保設置・撤去工 1 段梁

1 m 当り

[illegible]

第 13 号 C代価

軽量金属支保設置・撤去工 2段梁

1 m 当り

[illegible]

第 14 号 C代価

覆工板設置・撤去工

100 m2 当り

[illegible]

第 15 号 C代価

鋼製L型山留設置・撤去工

10 t 当り

[illegible]

アスコン摺付工

[illegible]

第 17 号 C代価

ポンプ運転工 作業時・ $\phi 50 \cdot H5m$

1 目 当り

[illegible]

機械掘削工

1 m3 当り

[illegible]

埋戻工 再生砂

1 m3 当り

[illegible]

発生土運搬工

1 m3 当り

[illegible]

第 24 号 C 代価

暗渠排水管 VU ϕ 300

1 m 当り

[illegible]

鋪裝切斷

1 m 当り

[illegible]

鋪裝版破碎

1 m2 当り

[illegible]

アスコン廃材処理工

1 m3 当り

[illegible]

第 28 号 C代価

下層路盤 RC-40 · t=20cm

1 m2 当り

[illegible]

第 29 号 C代価

下層路盤 RC-40 · t=8cm

1 m2 当り

[illegible]

第 30 号 C代価

上層路盤 RM-40 · t=17cm

1	m2 当り
---	-------

[illegible]

第 32 号 C代価

コンクリート切断 30cm以下

1 m 当り

[illegible]

第 34 号 C代価

廃プラスチック廃材処理工

1 m3 当り

[illegible]

土のう積工

1 m2 当り

[illegible]

第 36 号 C 代価

敷鉄板設置工

1 m2 当り

[illegible]

第 37 号 C 代価

敷鉄板撤去工

1 m2 当り

[illegible]

仮設材運搬工

1 t 当り

アルミ矢板土留 掘削深 2.5m以下

数 量

单 価

金額

明細単価番号
基準

27.82

m

27, 82

m

1

式

110

単位当たり

第 1 号 D代価

蓋(受枠とも)及び調整コンクリートブロック据付工
(調整コンクリートブロック使用有，

1 箇所 当り

第 2 号 D代価

機械掘削工(バックホウ) クロー型 0.28m3

100 m3 当り

[illegible]

[illegible]

第 5 号 D代価

土留支保工(軽量金属支保工) 1段 2.0m以下

(水压式ハ イ° 秒° ト ,)

100 m 当り

[illegible]

第 7 号 D代価

ポンプ運転工 作業時排水 発動発電機
(ポンプ1台 ,

1 目 当 り

[illegible]

第 1 号 代価表

ダンプトラック運転 オンロード・ディーゼル 10t積級

(夕代損耗狀態,)

1 目 当 り

敷鉄板撤去

明細単価番号
基 準

[illegible]

第 5 号 代価表

仮設材等の運搬(1車1回) 往復 製品長12m以内 片道運搬距離0.9km
(割増なし ,)

1	t 当り
---	------

[illegible]

第 6 号 代価表

仮設材等の積込み・取卸し費 基地積込→現場→基地取卸

1 t 当り

[illegible]

第 7 号 代価表

バックホウ運転 クロー型 山積0.28m³(平積0.2)

(排対型:2次基準,)

1 時間 当り

[illegible]

第 8 号 代価表

ダンプトラック運転 1000時間・ディーゼル 4t積級

(夕代損耗狀態,)

1 目 当 り

[illegible]

第 9 号 代価表

バックハウ運転(クレーン機能付)(賃料) クロー型 山積0.8m3(平積0.6)

1 目 当り

[illegible]

[illegible]

第 11 号 施工パッケージ

下層路盤(歩道部) 全仕上り厚200mm 1層施工
(再生クラッシャー RC-40 ,)

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格	金額 構成 比 (%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準
【機械】			5.62			
★小型バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.11m3 (平積0.08m3)			2.91			
★振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンパインド式] 運転質量 3～4t			2.55			
その他(機械)						
【労務】			72.88			
普通作業員			30.50			
運転手(特殊)			26.32			
特殊作業員			13.94			
その他(労務)						
【材料】			21.50			
★再生クラッシャーラン RC-40			19.41			
★軽油			2.03			
その他(材料)						
【端数調整】						
[条件] [J1] = 200.000 mm 全仕上り厚			[J2] = 1 施工区分 1層施工			
[J3] = 6 材料 再生クラッシャー RC-40			[J4] = 1 費用の内訳 全ての費用			

第 12 号 施工パッケージ

下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚80mm 1層施工
(再生クラッシャー RC-40 ,)

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格	金額 構成 比 (%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準
【機械】			4.67			
モータグレーダ[土工用] 排対型:2次基準 幅3.1m			1.87			
ロードローラ 排対型:2次基準 マダム 運転質量10t 締固め幅2.1m			1.48			
★タイヤローラ[普通型] 運転質量 8～20t			0.48			
その他(機械)						
【労務】			15.69			
運転手(特殊)			7.32			
特殊作業員			2.44			
普通作業員			2.38			
土木一般世話役			0.72			
その他(労務)						
【材料】			79.64			
★再生クラッシャーラン RC-40			78.02			
★軽油			1.33			
その他(材料)						
【端数調整】						
[条件] [J1] = 80.000 mm 全仕上り厚			[J2] = 1	施工区分	1層施工	
[J3] = 6 材料 再生クラッシャー RC-40			[J4] = 1	費用の内訳	全ての費用	

第 13 号 施工パッケージ

上層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚170mm 2層施工
(再生粒度調整碎石 RM-40,)

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格	金額 構成 比 (%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準
【機械】			12.07			
モータグレーダ[土工用] 排対型:2次基準 幅3.1m			4.83			
ロードローラ 排対型:2次基準 マダム 運転質量10t 締固め幅2.1m			3.83			
★タイヤローラ[普通型] 運転質量 8～20t			1.24			
その他(機械)						
【労務】			40.36			
運転手(特殊)			18.87			
特殊作業員			6.26			
普通作業員			6.11			
土木一般世話役			1.84			
その他(労務)						
【材料】			47.57			
★再生粒度調整碎石 RM-40			43.39			
★軽油			3.43			
その他(材料)						
【端数調整】						
[条件] [J1] = 8 材料 再生粒度調整碎石 RM-40			[J4] = 170.000 mm 全仕上り厚			
[J5] = 2 施工区分 2層施工			[J7] = 1 費用の内訳 全ての費用			

第 14 号 施工パッケージ

表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚30mm 再生密粒度アスコン(13)
(平均幅員1.4～3.0m以下 , プライムコート 締固密度2.35)

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格	金額 構成 比 (%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準
【機械】			1.61			
★アスファルトフィニッシャー [ホイール型]舗装幅1.4～3.0m			1.03			
★振動ローラ(舗装用)[搭乘・コンパクト式] 運転質量 3～4t			0.21			
★タイヤローラ[普通型] 運転質量3～4t			0.19			
その他(機械)						
【労務】			13.99			
普通作業員			4.75			
運転手(特殊)			3.30			
特殊作業員			3.18			
土木一般世話役			1.15			
その他(労務)						
【材料】			84.40			
★再生アスファルト混合物 再生密粒度アスコン(13)			77.40			
★アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			6.70			
★軽油			0.27			
その他(材料)						
【端数調整】						
[条件] [J2] = 30.000 mm 1層当り平均仕上り厚			[J1] = 3 平均幅員 1.4m以上3.0m以下			
[A1] = 11 材料 再生密粒度アスコン(13) [J6] = 1 費用の内訳 全ての費用			[J4] = 3 瀝青材料種類 プライムコート PK-3			

第 15 号 施工パッケージ

舗装版切断 コンクリート舗装版 15cmを超え30cm以下

1 m 当り

名 称 ・ 規 格	金額 構成 比 (%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準
【機械】			10.58			
コンクリートカッタ[バキューム式・湿式] 径φ75cm 切削深30cm級 超低騒音型			7.20			
その他(機械)						
【労務】			36.99			
特殊作業員			12.66			
土木一般世話役			6.84			
普通作業員			5.66			
その他(労務)						
【材料】			52.43			
★コンクリートカッタ (ブレード) 径30インチ			23.68			
★コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ			16.23			
★コンクリートカッタ (ブレード) 径14インチ			9.93			
★ガソリン レギュラー スタンド価格			1.76			
その他(材料)						
【端数調整】						
[条件] [J1] = 2 舗装版種別 コンクリート舗装版			[J3] = 2	コンクリート舗装版厚 15cmを超え30cm以下		
[J5] = 1 費用の内訳 全ての費用						

タンパ締固め

1 m3 当り

[illegible]

令和7年度 水路改修工事（その2）

数量計算書

富士見市羽沢1丁目地内 市道第386号線外

目 次

1. 管 渠 工 (ボックスカルバート□900x900)	P- 1
2. 点 検 孔 工 (ボックスカルバート上部工)	P-11
3. 導 水 管 接 続 工 (ボックスカルバート接続)	P-13
4. 付 帯 工 (集計表)	P-21
既設水路摺付処理工(上流部)	P-22
既設水路閉塞処理工(下流部)	P-23
既設構造物撤去復旧工	P-24
借地処理工(仮設工)	P-25

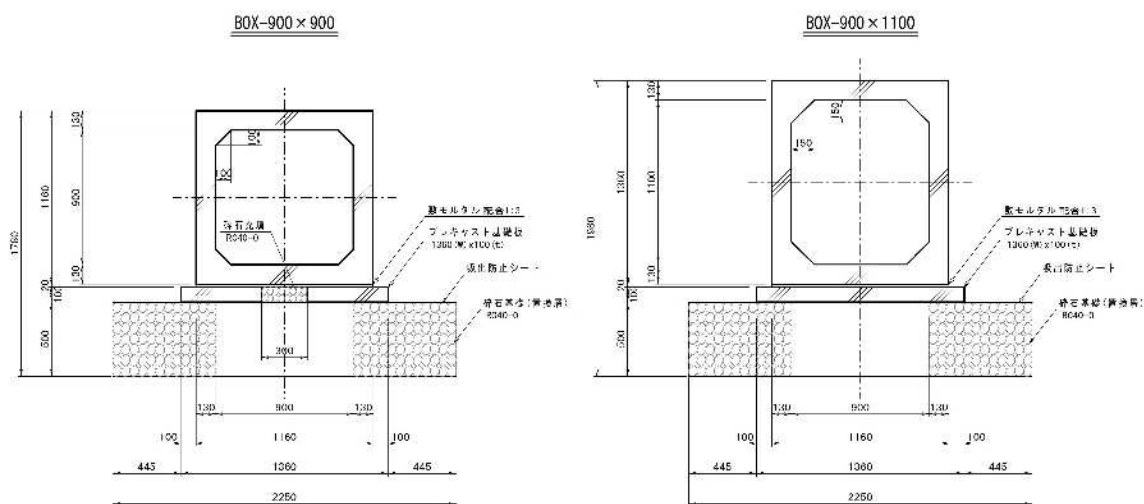
管 渠 工 (□900×900mm) 集 計 表						
1/3						
名 称	種 別	単位	数 量			備 考
			覆工あり	覆工なし	合 計	
路 線 延 長		m	18.69	9.13	27.82	
函 体 延 長	＝据 付 延 長	m	18.69	9.13	27.82	
基 礎 延 長		m	18.69	9.13	27.82	
管 路 土 工						
機 械 掘 削	一次掘削(覆工部) バックホウ0.20m3級	m3	20.67		20.7	
〃	床堀 バックホウ0.20m3級	m3	27.72	36.71	64.4	
埋 戻 工	流動化処理土充填 材工共	m3		16.60	16.6	既存水路充填
〃	埋戻(覆工基礎) 再生碎石 バックホウ0.20m3級	m3	2.99		3.0	
〃	埋戻(基礎置換) 再生碎石 バックホウ0.20m3級	m3	21.03	10.27	31.3	
〃	埋戻(BOX側部) 再生砂 バックホウ0.20m3級	m3	18.25	11.13		
	埋戻(覆工余掘) 再生砂 バックホウ0.20m3級	m3	0.75		30.1	計
〃	埋戻(BOX側部) 再生碎石 バックホウ0.20m3級	m3	2.35	1.42		
〃	埋戻(覆工余掘) 再生碎石 バックホウ0.20m3級	m3	1.72		5.5	計
発 生 土 処 理	改良プラント処分 バックホウ0.20m3級積込み	m3	48.39	36.71	85.1	
ボックスカルバート 据 付 工						
据 付 延 長	＝函 体 延 長	m	18.69	9.13	27.82	
ボックスカルバート	□900×1100 標準 L=1.000m	本		1	1	(両フラット) 底版穴明 φ150
〃	□900×900 標準 L=1.000m	本	11	3	14	(標準) 底版穴明 φ150
〃	□900×900 標準 L=1.000m	本	2	1	3	(標準) 点検孔半明 φ600
〃	□900×900 標準 L=1.000m	本		1	1	(受口フラット) 点検孔半明 φ600
〃	□900×900 標準 L=1.000m	本		1	1	(差口フラット) 底版穴明 φ150
〃	□900×900 短尺 L=0.600m	本	1	1	2	(標準) 調整用

管 渠 工 (□900×900mm) 集 計 表						
2/3						
名 称	種 別	単位	数 量			備 考
			覆工あり	覆工なし	合 計	
ボックスカルバート	短尺 L=0.734m	本	1		1	(受口フラット) 閉塞壁連結用
	斜切 L=1.000m	本	1		1	(受口付) 1214/786
"	" L=1.000m	本	1		1	(差口付) 1214/786
	" L=0.754m	本	1		1	(受口付) 899/609
"	" L=0.755m	本	1		1	(差口付) 900/610
	" L=0.755m	本	1		1	(受口付) 900/610
"	" L=0.790m	本		1	1	(差口付) 935/645
	" L=0.690m	本		1	1	(差口付) 767/613
Pca 閉塞壁	200x200x1160	枚		2	2	BOX連結用ボルト箱
"	320x200x1160	枚	2		2	BOX連結用特殊ボルト箱
プレキャスト基礎板	1800×100					
	既設接続 L=1.000m	枚	1		1	調整用
"	1360×100					開口300x300x2
	標準 L=1.500m	枚	9	4	13	開口300x200x1
"	砕石充填					
	上記標準基礎板開口	m3	0.024m3/枚×13枚		0.31	
"	短尺 L=0.905m	枚		1	1	調整用
	斜切 L=0.734m	枚	1		1	985/483
"	" L=0.805m	枚	1		1	1056/554
	" L=1.074m	枚	1		1	1243/905
"	" L=0.950m	枚	1		1	1119/781
	" L=0.560m	枚	1		1	729/391
"	" L=1.195m	枚		1	1	1364/1026
	" L=0.995m	枚		1	1	1086/904
吸出防止シート		m2	2.250m2×27.82m		62.60	

管 渠 工 (□900×900mm) 集 計 表						
3/3						
名 称	種 別	単位	数 量			備 考
			覆工あり	覆工なし	合 計	
管 路 土 留 工						
土留工(アルミ矢板)	アルミ矢板(建込・引抜)					
	L=2.5m	m	18.69	9.13	27.82	掘削深2.5m以下
土留工(アルミ矢板)	軽量金属支保工					
	2段梁 設置・撤去	m	18.69	9.13	27.82	
〃	1段梁 設置・撤去	m	18.69	9.13	27.82	盛替え
管 路 路 面 覆 工						
覆 工 面 積	地山受覆工板					
	3000x1000x200	m2	56.07		56.07	
〃	覆工板重量	t	12.054		12.054	
桁 材 重 量	鋼製L型土留材					
	L-450x250x19	t	4.822		4.822	
アスコン摺付け工		m	18.69		18.69	
舗 装 撤 去 工						付帯工計上
舗 装 切 断 工	As 15cm以下	m	37.38	18.26	55.64	
濁 水 運 搬 処 理		m3	0.049	0.024	0.073	
舗 装 版 破 碎 工	As 15cm以下	m2	56.82	20.55	77.37	
殻廃材運搬処理	As	m3	2.84	1.03	3.87	
道 路 復 旧 工						付帯工計上
表 層	仮復旧					
	再生密粒度As 3cm	m2	56.82	20.55	77.37	
上 層 路 盤	再生粒調碎石 17cm(RM40-0)	m2	56.82	20.55	77.37	
下 層 路 盤	再生切込碎石 8cm(RC40-0)	m2	56.82	20.55	77.37	BOX側部は埋戻し
既設構造物取壊処理工						付帯工計上
構 造 物 切 断	Co 30cm以下	m	55.30	20.35	75.65	
構 造 物 取 壊	有筋コンクリート					
	機械施工	m3	12.31	4.10	16.41	
殻廃材運搬処理	有筋コンクリート					
	機械施工	m3	12.31	4.10	16.41	

ボックスカルバート据付工標準図 (□900x900, □900x1100)

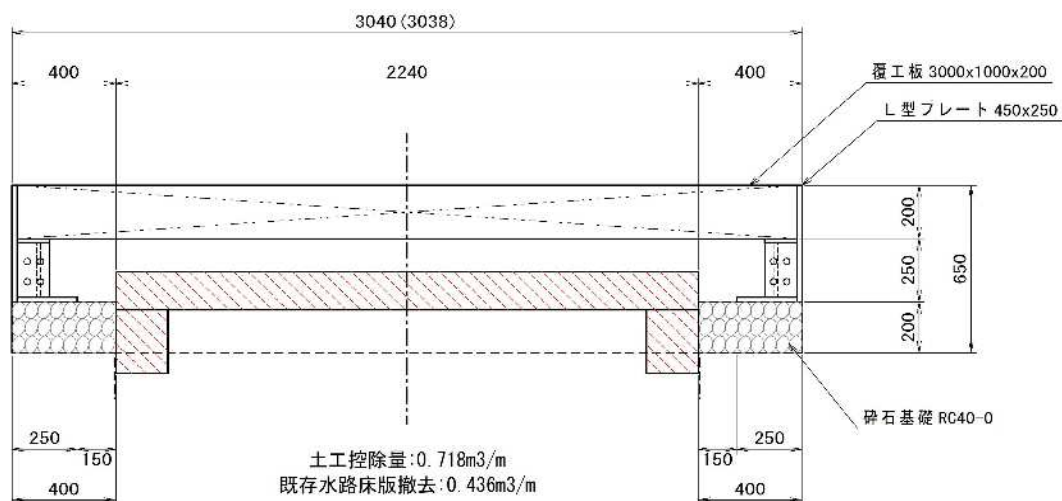
1/4



工 種	算 出 根 拠	定数値(m当り)
□900x900 標準L=1.0m/本	標準断面 底版穴明 φ150	
□900x1100 標準L=1.0m/本	落差工断面	
プレキャスト基礎板 標準1360x100x1500	標準断面 300x300 2箇所、300x200 1箇所 穴明	
	図面番号 3/9 ボックスカルバート割付図	
	図面番号 3/9 プレキャスト基礎板割付図	
	図面番号 4/9 ボックスカルバート材料表 参照	
砕石充填 RC40-0	標準プレキャスト基礎板 開口を砕石充填	
	$0.30 \times (0.30 \times 2 + 0.20) \times 0.10 =$	0.024 m ³
敷モルタル 配合 1:3	$1.36 \times 0.020 \times \text{基礎延長} =$	0.027 m ³
吸出防止シート 不織布	$2.250 \times \text{基礎延長} =$	2.250 m ²

ボックスカルバート土工標準図 (□900x900 覆工部)

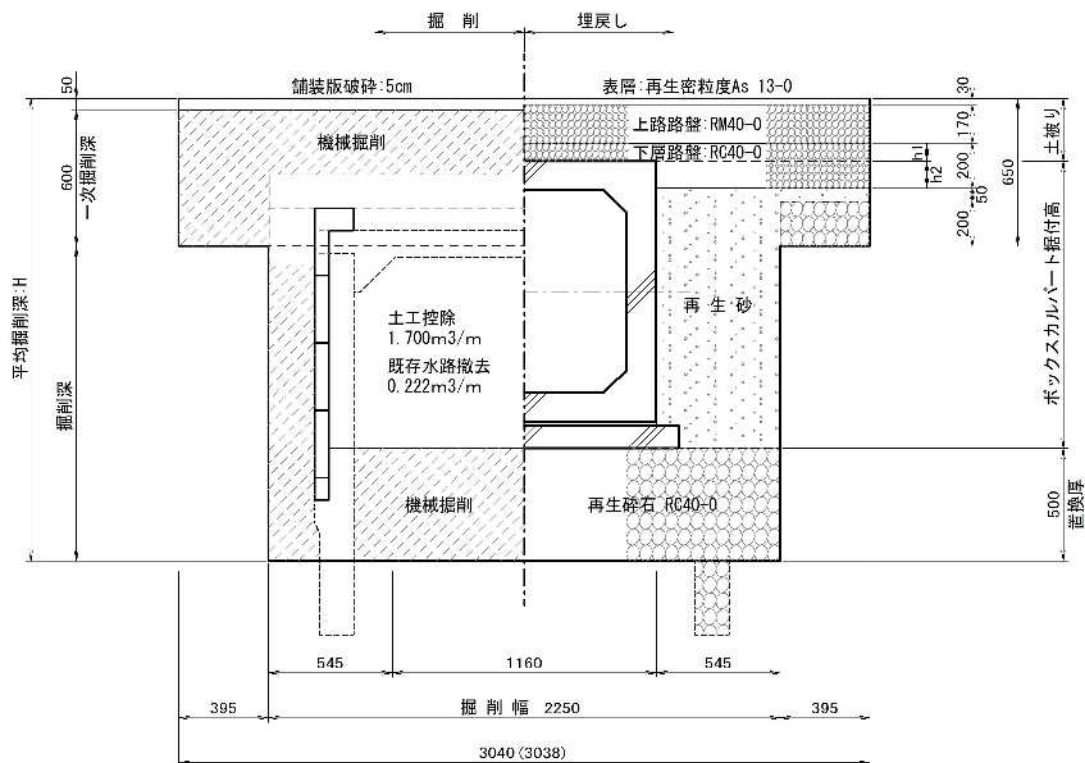
2/4



工 種	算 出 根 拠	定数値(m当り)
1次機械掘削 バックホウ平積0.20m ³	掘 削 幅 × (1次掘削深－舗装厚) × 掘削延長	
	3.04 × (0.65 － 0.05) × 掘削延長 ＝	1.824 m ³
土工控除 既存水路床版m ³		0.718 m ³
碎石基礎(覆工部) RC40-0	(0.40×2) × 0.200 × 掘削延長 ＝	0.160 m ³
敷廃材処理量 床版部		0.436 m ³

ボックスカルバート土工標準図 (□900x900 覆工部)

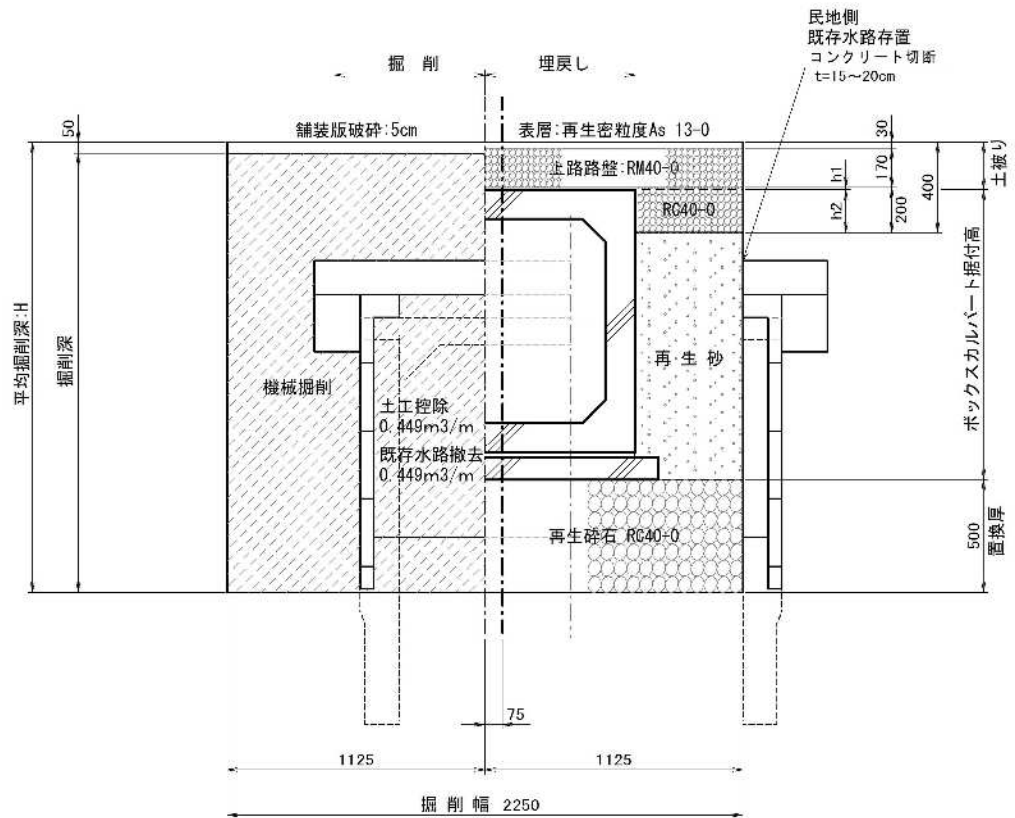
3/4



工 種	算 出 根 拠	定数値(m当り)
機械掘削(床掘) バックホウ平積0.20m³	掘 削 幅 × (平均掘削深 - 1次掘削深) × 掘削延長	
掘削控除 既存水路空m³	※梁間隔1.5mとして算定	1.700 m³
碎石置換 RC40-0 50cm	掘 削 幅 × 置換層厚 × 掘削延長	
埋 戻 深	平均掘削深 - 置換層厚 - 道路復旧厚	
1. 埋戻(BOX側部) 再生砂	埋戻深 ≥ ボックスカルバート据付高 の場合 = 据付高	
2. 埋戻(BOX側部) 再生砂	埋戻深 < ボックスカルバート据付高 の場合 = 埋戻深	(全線2.)
埋戻(BOX側部) 再生砂	掘 削 幅 × 埋戻深 × 掘削延長	
埋戻控除 基礎コンクリート	1.36 × 0.10 × 掘削延長 =	0.136 m²
埋戻控除 ボックスカルバート	1.160(ボックスカルバート幅) × 埋戻深 × 掘削延長	
埋戻(覆工余掘部) 再生砂	(0.40×2) × 0.050 × 掘削延長 =	0.040 m³
埋戻(BOX側部) 再生砕石	土被り - 道路復旧厚 < 0の場合、下層路盤 碎石埋戻し	
発生土処理 4tダンプ, バックホウ0.20m³積	= 一次掘削土量 + 機械掘削(床掘) - (掘削控除量)	

ボックスカルバート土工標準図（□900x900 覆工なし）

4/4



工 種	算 出 根 拠	定数値(m当り)
流動化処理土充填 事前処理	材工共	1.818 m3
機械掘削(床掘) バックホウ平積0.20m3	掘 削 幅 × (平均掘削深－舗装厚) × 掘削延長	
掘削控除 既存水路空m3	※梁間隔1.5mとして算定	0.449 m3
碎石置換 RC40-0 50cm	掘 削 幅 × 置換層厚 × 掘削延長	
埋 戻 深	平均掘削深 － 置換層厚 － 道路復旧厚	
1. 埋戻(BOX側部)再生砂	埋戻深 ≥ ボックスカルバート据付高 の場合 = 据付高	
2. 埋戻(BOX側部)再生砂	埋戻深 < ボックスカルバート据付高 の場合 = 埋戻深	(全線2.)
埋戻(BOX側部) 再生砂	掘 削 幅 × 埋戻深 × 掘削延長	
埋戻控除 基礎コンクリート	1.36 × 0.10 × 掘削延長 =	0.136 m2
埋戻控除 ボックスカルバート	1.160(ボックスカルバート幅) × 埋戻深 × 掘削延長	
埋戻(BOX側部) 再生砕石	土被り－道路復旧厚<0の場合、下層路盤 碎石埋戻し	
発生土処理 4tダンプ,バックホウ0.20m3積	= 一次掘削土量 + 機械掘削(床掘) － (掘削控除量)	

内寸900x900mm函渠布設工調書												1/3
路 線 番 号		単位	定数値	7-1	IP-1	No.7-1-2	IP-2	計	IP-3	7-2	+1.00	計
測 点				No.7-1-1 ～ IP-1	No.7-1-2 ～ No.7-1-2	IP-2 ～ TP-3	覆工あり		No.7-2-1 ～ No.7-2-1	No.7-2-1 ～ +1.00	～ IP-4	
路 線 延 長		m		1.74	2.01	13.42	1.52	18.69	4.42	1.00	3.71	9.13
掘削減長	上流	m										
	下流											
掘 削 延 長		m		1.74	2.01	13.42	1.52		4.42	1.00	3.71	
管体減長	上流	m										
	下流											
管 体 延 長		m		1.74	2.01	13.42	1.52	18.69	4.42	1.00	3.71	9.13
ボックスカルバート												
□900x1100 (両フラット) 底版穴明 φ150		本	1.000 m/本							1		1
□900x900 (標準) 底版穴明 φ150		本	1.000 m/本			11		11	2		1	3
" (標準) 点検孔半明 φ600		本	1.000 m/本		1	1		2			1	1
" (受口フラット) 点検孔半明 φ600		本	1.000 m/本								1	1
" (差口フラット) 底版穴明 φ150		本	1.000 m/本						1			1
" (標準) 短尺 調整用		本	0.600 m/本			1		1	1			1
" (受口フラット) " 閉塞壁連結用		本	0.734 m/本	1				1				
" (受口付) 斜切 1214 / 786		本	1.000 m/本	1				1				
" (差口付) " 1214 / 786		本	1.000 m/本		1			1				
" (受口付) " 899 / 609		本	0.754 m/本			1		1				
" (差口付) " 900 / 610		本	0.755 m/本				1	1				
" (受口付) " 900 / 610		本	0.755 m/本				1	1				
" (差口付) " 935 / 645		本	0.790 m/本						1			1
" (差口付) " 767 / 613		本	0.690 m/本								1	1
Pca閉塞壁 BOX連結用ボルト箱		枚	200x200 1160						1	1		2
" BOX連結用特殊ボルト箱		枚	320x200 1160	2				2				
基礎減長	上流	m										
	下流											
基 礎 延 長		m		1.74	2.01	13.42	1.52	18.69	4.42	1.00	3.71	9.13
プレキャスト基礎板												
Pca基礎板 1800x100 調整用			1.000 m/枚	1				1				
Pca基礎板 1360x100 開口300x300x2, 300x200x1		枚	1.500 m/枚		1	8		9	2	1	1	4
" " 短尺 調整用		枚	0.905 m/枚								1	1
" " 斜切 985 / 483		枚	0.734 m/枚	1				1				
" " " 1056 / 554		枚	0.805 m/枚		1			1				
" " " 1243 / 905		枚	1.074 m/枚			1		1				
" " " 1119 / 781		枚	0.950 m/枚				1	1				
" " " 729 / 391		枚	0.560 m/枚				1	1				
" " " 1364 / 1026		枚	1.195 m/枚						1			1
" " " 1086 / 904		枚	0.995 m/枚								1	1

内寸900x900mm函渠布設工調書

2/3

路 線 番 号		単位	定数値	7-1				計		7-2		計
				No.7-1-1 ～ IP-1	IP-1 ～ No.7-1-2	No.7-1-2 ～ IP-2	IP-2 ～ TP-3		覆工あり	IP-3 ～ No.7-2-1	No.7-2-1 ～ +1.00 ～ IP-4	
掘 削 延 長		m		1.74	2.01	13.42	1.52	18.69	4.42	1.00	3.71	9.13
掘 削 深	上流	m		2.037	2.129	2.113	2.007		2.018	2.149	2.149	
	下流			2.129	2.113	2.007	2.018		1.949	2.022	2.022	
平 均 掘 削 深		m		2.083	2.121	2.060	2.013		1.984	2.086	2.086	
覆工掘削幅(一次)		m		3.04	3.04	3.04	3.04					
覆工掘削深		m		0.65	0.65	0.65	0.65					
掘 削 幅(床掘)		m		2.25	2.25	2.25	2.25		2.25	2.25	2.25	
舗 装 厚		m		0.05	0.05	0.05	0.05		0.05	0.05	0.05	
路 盤 厚		m		0.35	0.35	0.35	0.35		0.35	0.35	0.35	
機 械 掘 削	一次掘削 平積 0.20m3	m3		3.17	3.67	24.48	2.77					
	土工控除 既存水路床版m3		-0.718 m3/m	-1.25	-1.44	-9.64	-1.09	20.67				
	床 掘 平積 0.20m3	m3		5.61	6.65	42.57	4.66		19.23	4.58	17.00	
	土工控除 覆工板設置路線	m3	-1.700 m3/m	-2.96	-3.42	-22.81	-2.58					
	土工控除 覆工板なし路線	m3	-0.449 m3/m					27.72	-1.98	-0.45	-1.67	36.71
	流動化処理土充填 現場着(材工共)	m3	1.818 m3/m						8.04	1.82	6.74	16.60
	碎石基礎(RC40-0) 覆工板受材部 20cm	m3	0.160 m3/m	0.28	0.32	2.15	0.24	2.99				
碎石置換え(RC40-0) 平積 0.20m3		m3	0.500 m	1.96	2.26	15.10	1.71	21.03	4.97	1.13	4.17	10.27
埋 戻 し	埋 戻 深	m		0.933	0.971	0.910	0.863		1.084	1.186	1.186	
	BOX据付高	m		1.280	1.280	1.280	1.280		1.280	1.280	1.280	
	BOX側部 採用深(上記の浅い方)	m		0.933	0.971	0.910	0.863		1.084	1.186	1.186	
	BOX上部 埋戻深：h	m		-0.097	-0.059	-0.120	-0.167	-0.111	-0.196	-0.094	-0.094	-0.128
	採用深(一は路盤) (BOX側部)再生砂	m		—	—	—	—		—	—	—	
	平積 0.20m3	m3		3.65	4.39	27.48	2.95		10.78	2.67	9.90	
	埋戻控除 基礎CON	m3	-0.136 m3/m	-0.24	-0.27	-1.83	-0.21		-0.60	-0.14	-0.50	
	ボックスカルバート (覆工余堀)再生砂	m3	1.160 BOX幅	-1.68	-2.03	-12.61	-1.35	18.25	-5.05	-1.26	-4.67	11.13
	平積 0.20m3 5cm	m3	0.040 m3/m	0.07	0.08	0.54	0.06	0.75				
	(BOX側部)再生碎石 平積 0.20m3	m3	1.090 m(両側)	0.18	0.13	1.76	0.28	2.35	0.94	0.10	0.38	1.42
	(覆工余堀)再生碎石 平積 0.20m3	m3	0.800 m(両側)	0.14	0.09	1.29	0.20	1.72				
	発 生 土 処 理	一次掘削土量	m3		3.17	3.67	24.48	2.77				
床掘土量		m3		5.61	6.65	42.57	4.66		19.23	4.58	17.00	
土工控除 既存水路床版		m3		-1.25	-1.44	-9.64	-1.09					
既存水路		m3		-2.96	-3.42	-22.81	-2.58	48.39	-1.98	-0.45	-1.67	36.71
土 留 工		アルミ矢板 L=2.5m	m		1.74	2.01	13.42	1.52	18.69	4.42	1.00	3.71
	軽量金属支保 2段梁	m		1.74	2.01	13.42	1.52	18.69	4.42	1.00	3.71	9.13
	軽量金属支保 1段梁(盛替え)	m		1.74	2.01	13.42	1.52	18.69	4.42	1.00	3.71	9.13

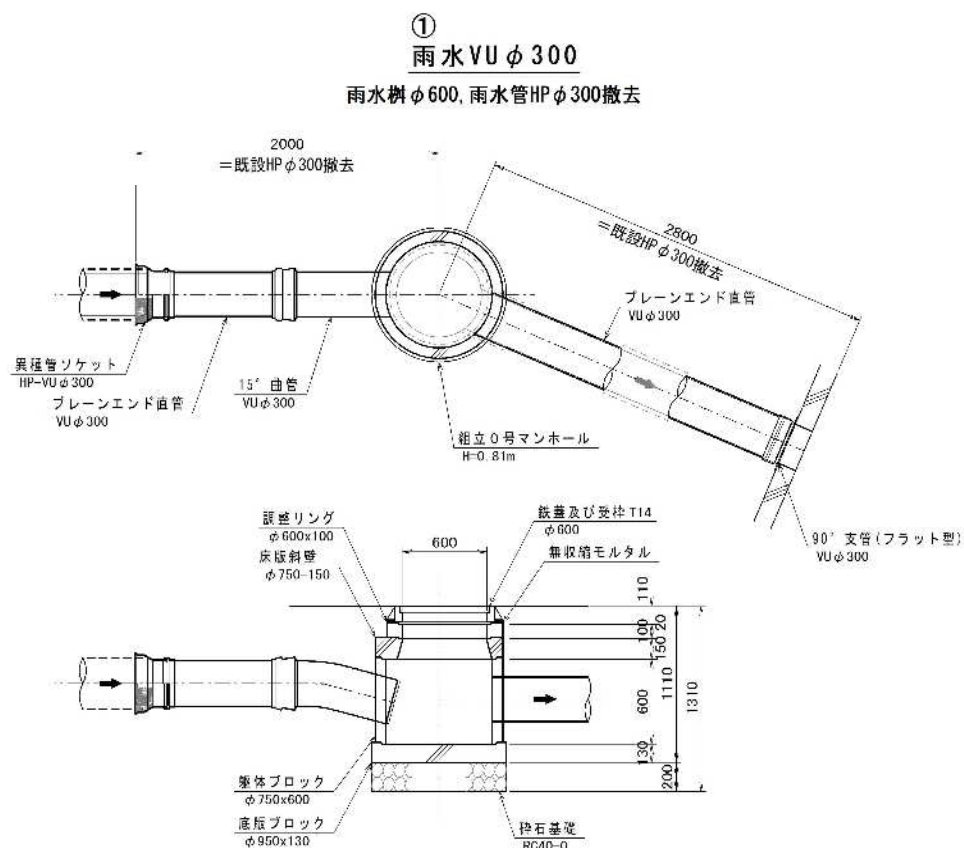
3/3

富士見市

導水管接続工集計表							
							1/2
名 称	種 別	単位	数 量				備 考
			1/3	2/3	3/3	計	
導水管布設	塩ビ管 φ 300	m	4.05	—	2.50	6.6	
〃	塩ビ管 φ 200	m	—	1.0	—	1.0	
〃	塩ビ管 φ 150	m	—	4.0	—	4.0	
〃	塩ビ管 φ 75	m	—	1.0	—	1.0	
穿 孔 工	塩ビ管 φ 300用	箇所	1	—	1	2	
〃	塩ビ管 φ 200用	箇所	—	1	—	1	
〃	塩ビ管 φ 150用	箇所	—	4	—	4	
〃	塩ビ管 φ 75用	箇所	—	1	—	1	
管 材 料	90° フラット支管 φ 300	個	1	—	1	2	
〃	90° フラット支管 φ 200	個	—	1	—	1	
〃	90° フラット支管 φ 150	個	—	4	—	4	
〃	DVエルボ φ 300	個	—	—	1	1	
〃	15° 曲管 φ 300	個	1	—	1	2	
〃	異種管ソケット HP-VU φ 300	個	1	—	1	2	
〃	曲管 φ 200 (45° 参考)	個	—	2	—	2	
〃	曲管 φ 150 (45° 参考)	個	—	8	—	8	
〃	接着カラー φ 200	個	—	1	—	1	
〃	接着カラー φ 150	個	—	4	—	4	
〃	T S エルボ φ 75	個	—	3	—	3	
〃	T S ソケット φ 75	個	—	1	—	1	
マンホール工	組立0号マンホール H=0.81m	箇所	1	—	—	1	
※材料P15, 16参照							

① 雨水 VUφ300 接続工 (1/3)

1/6

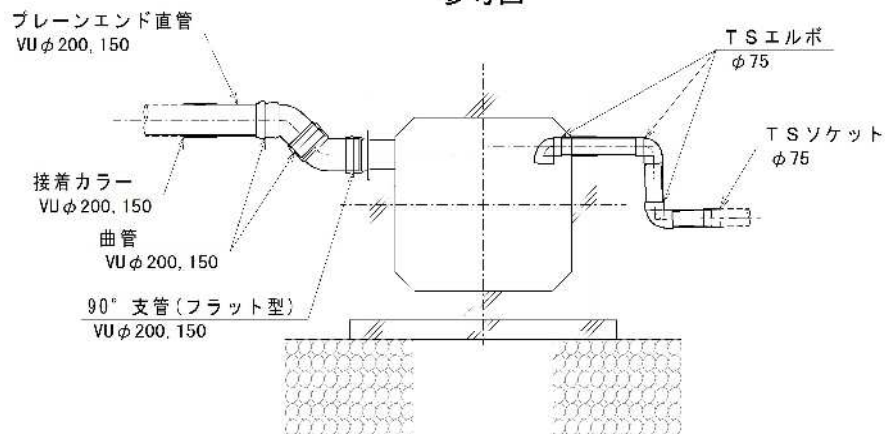


工 種	算 出 根 拠	数 量
導水管布設 VUφ300	2.00 + 2.80 - 0.75(0号控除) =	4.05 m
穿孔工	ボックスカルバート横穴φ300用	1 箇所
90° フラット支管	ボックスカルバート用φ300	1 個
15° 曲管		1 個
異種管ソケット	HP-VU	1 個
マンホール工 組立0号	H=0.81m	1 箇所
鉄蓋及び受枠	T-14 φ600	1 組
口環変形防止用金具	M-16 L=250	1 組
無収縮モルタル	$(0.82^2 - 0.60^2) \times \pi / 4 \times 0.020 =$	0.005 m ³
調整リング	φ600x100	1 個
床版斜壁	φ750x150	1 個
躯体ブロック	φ750x600	1 個

① 雨水 VUφ300 接続工 (1/3)			2/6
工 種	算 出 根 拠	数 量	
底版ブロック	φ 900x130	1 個	
削孔	0号 VU φ 300	1 箇所	
砕石基礎 RC40-0	$0.90^2 \times \pi / 4 \times 0.20 =$	0.13 m3	
布設・撤去土工	$2.00 + 2.80 - 0.50 (\text{BOX掘削控除}) =$	4.30 m	
機械掘削	$0.60 \times 0.70 \times 4.30\text{m} =$	1.81 m3	
管控除 φ 300	$0.30^2 \times \pi / 4 \times 4.30\text{m} =$	-0.30 m3	
	計 1.51 m3	1.51 m3	
埋戻し(再生砂)	$0.60 \times (0.70 - 0.40) \times 4.30\text{m} =$	0.77 m3	
管控除 φ 300	$0.30^2 \times \pi / 4 \times 1.51\text{m} =$	-0.11 m3	
	計 0.66 m3	0.66 m3	
発生土処理	= 掘削土量	1.51 m3	
付帯工計上			
舗装切断 As t=15cm以下	$4.30\text{m} \times \text{両側} =$	8.60 m	
濁水運搬処理 As t=5cm	$8.60\text{m} \times 0.130\text{m}^3/100\text{m} =$	0.011 m3	
舗装版破碎 As t=15cm以下	$0.60 \times 4.30\text{m} =$	2.58 m2	
殻廃材運搬処理 As t=5cm	$2.58\text{m}^2 \times 0.05 =$	0.13 m3	
道路復旧 仮復旧	= 舗装版破碎面積	2.58 m2	
殻廃材運搬処理 有筋コンクリート	$(0.360^2 - 0.300^2) \times \pi / 4 \times (2.00 + 2.80)\text{m} =$	0.15 m3	

導水管・排泥管

参考図



工 種	算 出 根 拠	数 量
導水管布設 VUφ200	1.0m/箇所 × 1箇所 =	1.0 m
導水管布設 VUφ150	1.0m/箇所 × 4箇所 =	4.0 m
排泥管布設 VPφ75	1.0m/箇所 × 1箇所 =	1.0 m
穿孔工	ボックスカルバート横穴φ200用	1 箇所
	ボックスカルバート横穴φ150用	4 箇所
	ボックスカルバート横穴φ75用	1 箇所
90° フラット支管	ボックスカルバート用φ200	1 個
	ボックスカルバート用φ150	4 個
曲管	VUφ200	2 個
	VUφ150	8 個
接着カラー	VUφ200	1 個
	VUφ150	4 個

導水管・排泥管 接続工 (2/3)			4/6
工 種	算 出 根 拠	数 量	
エルボ	TS φ 75	3 個	
ソケット	TS φ 75	1 個	
布設・撤去土工	0.5m/箇所 × 6箇所 =	3.00 m	
機械掘削	0.60 × 0.70 × 3.00m =	1.26 m ³	
管控除 φ 300	0.15(平均) ² × π/4 × 3.00m =	-0.05 m ³	
	計	1.21 m ³	1.21 m ³
埋戻し(再生砂)	0.60 × (0.70 - 0.40) × 3.00m =	0.54 m ³	
管控除 φ 300	0.15 ² × π/4 × 1.21m =	-0.02 m ³	
	計	0.52 m ³	0.52 m ³
発生土処理	= 掘削土量	1.21 m ³	
付帯工計上			
舗装切断 As t=15cm以下	3.00m × 両側 =	6.00 m	
濁水運搬処理 As t=5cm	6.00m × 0.130m ³ /100m =	0.008 m ³	
舗装版破碎 As t=15cm以下	0.60 × 3.00m =	1.80 m ²	
殻廃材運搬処理 As t=5cm	1.80m ² × 0.05 =	0.09 m ³	
道路復旧 仮復旧	= 舗装版破碎面積	1.80 m ²	
殻廃材運搬処理 廃プラスチック	0.216 ² × π/4 × 1.0m =	0.04 m ³	
	0.165 ² × π/4 × 4.0m =	0.09 m ³	
	0.090 ² × π/4 × 1.0m =	0.01 m ³	
	計	0.14 m ³	0.14 m ³

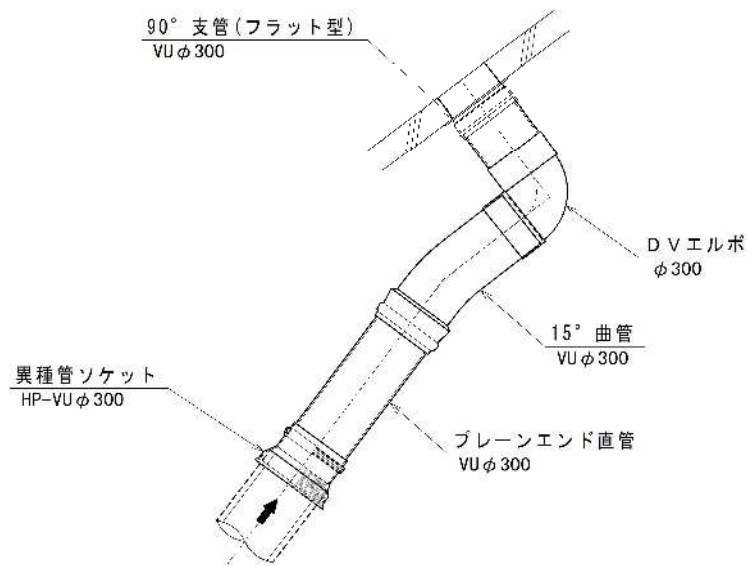
② 雨水 VUφ300 接続工 (3/3)

5/6

②

雨水 VUφ300

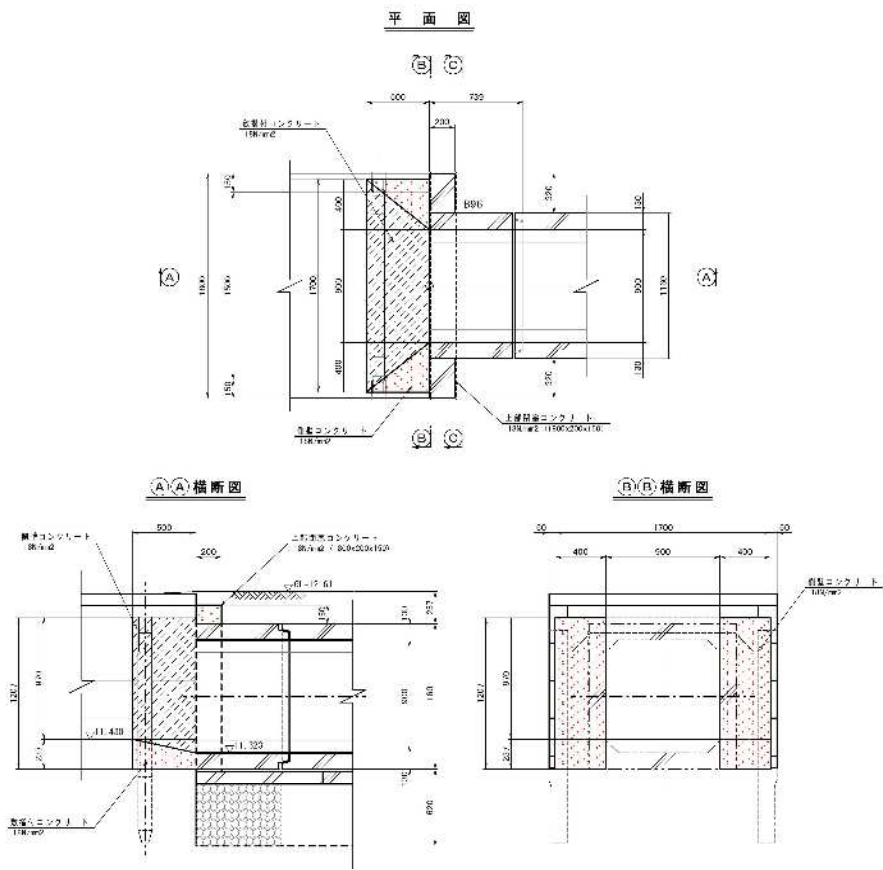
雨水管 HPφ300 撤去



工 種	算 出 根 拠	数 量
導水管布設 VUφ300		2.50 m
穿孔工	ボックスカルバート横穴φ300用	1 箇所
90° フラット支管	ボックスカルバート用φ300	1 個
エルボ	DV	1 個
15° 曲管		1 個
異種管ソケット	HP-VU	1 個
布設・撤去土工	$2.50 - 1.00(\text{BOX掘削控除}) =$	1.50 m
機械掘削	$0.60 \times 0.70 \times 1.50\text{m} =$	0.63 m ³
管控除φ300	$0.30^2 \times \pi / 4 \times 1.50\text{m} =$	-0.11 m ³
	計	0.52 m ³
埋戻し(再生砂)	$0.60 \times (0.70 - 0.40) \times 1.50\text{m} =$	0.27 m ³
管控除φ300	$0.30^2 \times \pi / 4 \times 0.52\text{m} =$	-0.04 m ³

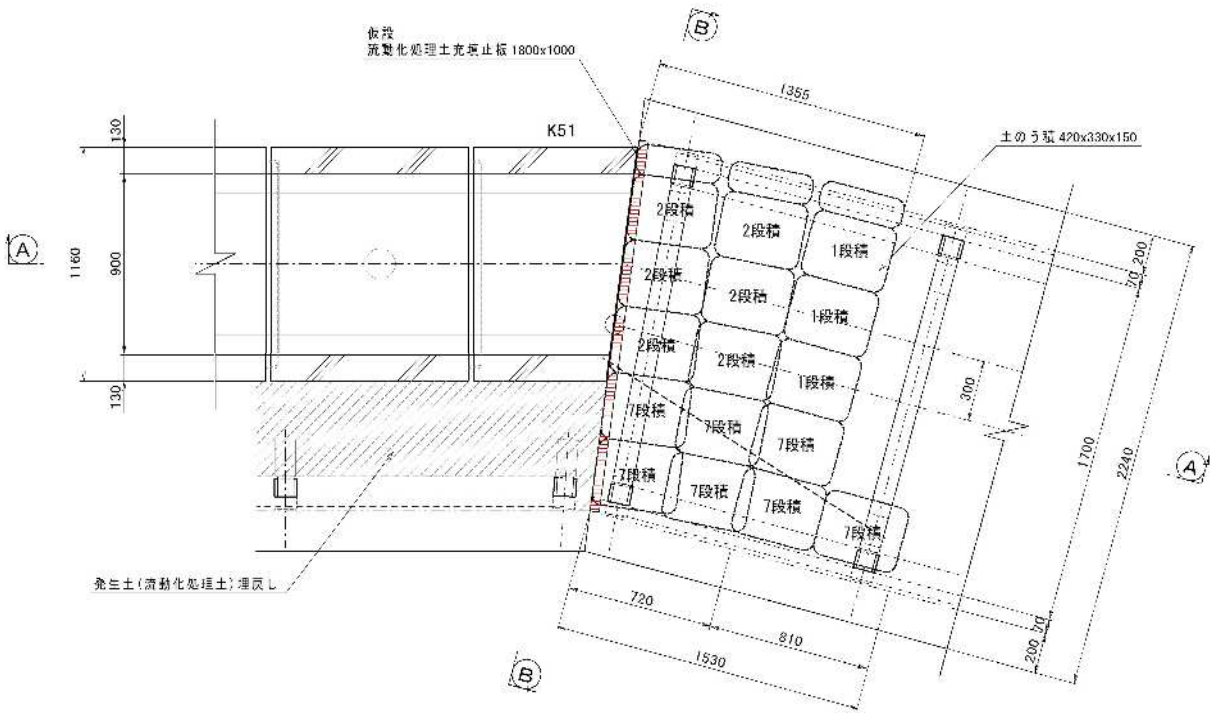
付 帯 工 集 計 表									
名 称		単位	ボックスカルパート 900x900	導水管 接続工	既設水路接続処理工 (上流部)	既設水路接続処理工 (下流部)	構造物 撤去復旧	借地処理 (仮設工)	計
舗装撤去工	舗装切断工								
	As 15cm以下	m	55.64	17.60	—	—	—	—	73.2
	濁水運搬処理工								
	アスファルト	m3	0.073	0.023	—	—	—	—	0.10
	舗装版破碎工								
道路復旧工	As 10cm以下	m2	77.37	5.28	—	—	—	—	82.7
	殻廃材運搬処理工								
	アスファルト	m3	3.87	0.27	—	—	—	—	4.1
	仮復旧工(市道幅員6m以下)								
	表 層 再生密粒As 3cm	m2	77.37	5.28	—	—	—	—	82.7
既設構造物取壊処理工	上層路盤 再生粒調 17cm	m2	77.37	5.28	—	—	—	—	82.7
	下層路盤 再生切込 8cm	m2	77.37	—	—	—	—	—	77.4
	〃 再生切込 20cm	m2	—	5.28	—	—	—	—	5.3
	コンクリート切断工								
	Co 30cm以下	m	75.65	—	—	—	—	—	75.7
既設水路接続処理工	構造物取壊(機械施工)								
	有筋コンクリート	m3	16.41	0.23	—	—	—	—	16.6
	殻廃材運搬処理								
	有筋コンクリート	m3	16.41	0.23	—	—	—	—	16.6
	廃プラスチック	m3	—	0.14	—	—	—	—	0.1
既設水路接続処理工	コンクリート工								
	18N/mm2	m3	—	—	0.41	—	—	—	0.4
	型枠工								
	無筋構造物	m2	—	—	1.55	—	—	—	1.6
	人力掘削工								
		m3	—	—	0.12	—	—	—	0.1
	発生土処理工								
		m3	—	—	0.12	—	—	—	0.1
	土のう工								
構造物撤去復旧	62x48cm	袋	—	—	—	64	—	—	64
	土のう積工								
		m2	—	—	—	2.45	—	—	2.5
	埋殺し型枠板								
	1800x1000	枚	—	—	—	1	—	—	1
	仮排水管								
	VU φ 300	m	—	—	—	10.0	—	—	10
	L形側溝								
	250 B	m	—	—	—	1.80	—	—	1.8
仮設工	集水柵								
	1000x520	基	—	—	—	1	—	—	1
	蓋付側溝								
	240	m	—	—	—	2.00	—	—	2.0
	敷鉄板設置撤去工								
仮設工	参考5x20	m2	—	—	—	—	—	142.50	142.5
	※使用枚数(参考)	枚	—	—	—	—	—	16	16
	※使用重量(参考)	t	—	—	—	—	—	25.664	25.664

既設水路摺付処理工(上流部)



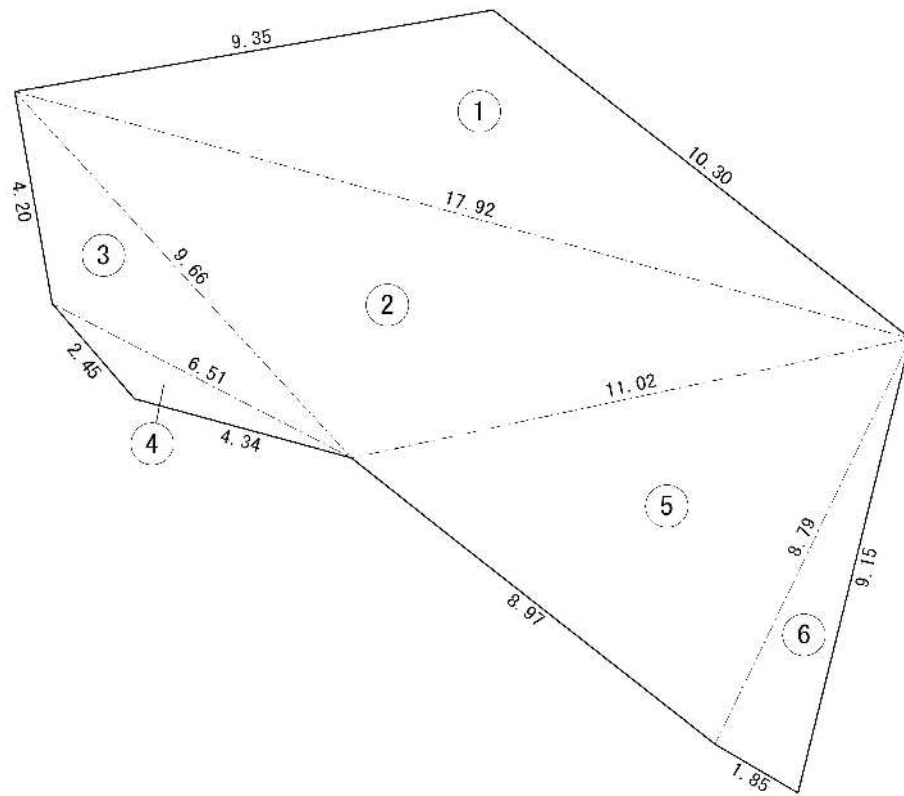
工 種	算 出 根 拠	数 量
既設水路摺付	No. 7-1-1 (BP)	1 箇所
コンクリート工 18N/mm2		
側壁コンクリート	$0.500 \times 0.400 \times 1/2 \times 1.207\text{m} \times \text{両側} =$	0.24 m3
敷摺付コンクリート	$(0.900 + 1.700) / 2 \times 0.500\text{m} \times (0.130 + 0.237) / 2 =$	0.12 m3
上部コンクリート	$1.800 \times 0.200 \times 0.150 =$	0.05 m3
	計	0.41 m3
型枠 無筋構造物		
側壁コンクリート	$\sqrt{(0.500^2 + 0.400^2)} \times 2\text{面} =$	1.28 m2
上部コンクリート	$1.800 \times 0.150 =$	0.27 m2
	計	1.55 m2
人力掘削 敷摺付調整	= 敷摺付コンクリート量	0.12 m3
発生土処理	= 敷摺付コンクリート量	0.12 m3

既設水路閉塞処理工（下流部）



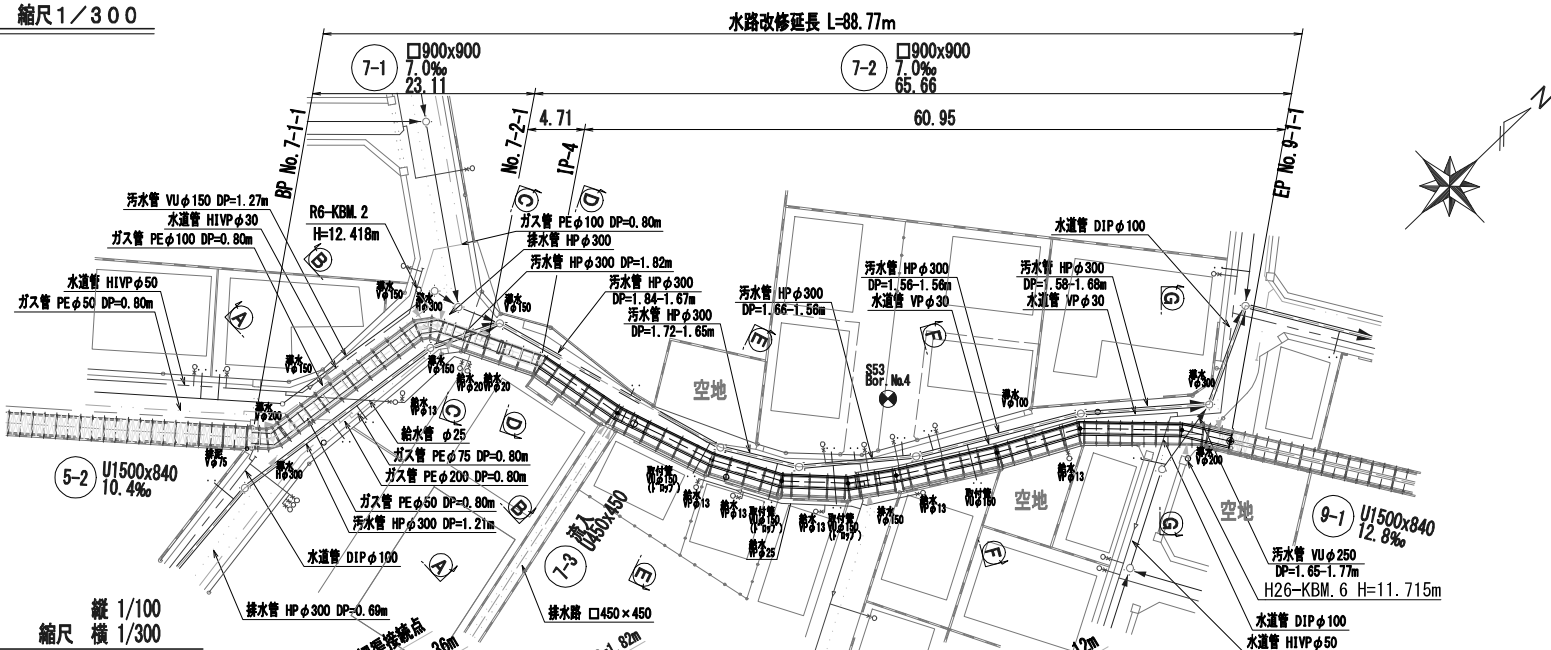
工 種	算 出 根 拠	数 量
既設水路閉塞	IP-4 (EP)	1 箇所
土のう工 62x48cm	7段×7箇所 + 2段×6箇所 + 1段×3箇所 =	64 袋
土のう積工 62x48cm	$(1.355 + 1.530) / 2 \times 1.700\text{m} =$	2.45 m ²
埋殺し型枠板 1800x1000mm		1 枚
仮排水管 VU φ 300	流動化処理土充填時 仮排水管	10.0 m

借地処理工



工 種	算 出 根 拠	数 量
借地面積 ヘロン式求積	$S = \sqrt{s(s-a)(s-b)(s-c)}$ $s = (a + b + c) / 2$	
①	$a = 9.35$ 、 $b = 10.30$ 、 $c = 17.92$ $s = 18.785$	36.067 m ²
②	$a = 17.92$ 、 $b = 11.02$ 、 $c = 9.66$ $s = 19.300$	46.108 m ²
③	$a = 9.66$ 、 $b = 4.20$ 、 $c = 6.51$ $s = 10.185$	10.845 m ²
④	$a = 6.51$ 、 $b = 2.45$ 、 $c = 4.34$ $s = 6.650$	3.005 m ²
⑤	$a = 11.02$ 、 $b = 8.97$ 、 $c = 8.79$ $s = 14.390$	38.365 m ²
⑥	$a = 8.79$ 、 $b = 1.85$ 、 $c = 9.15$ $s = 9.895$	8.095 m ²
	計 142.49 m ² ÷	142.5 m ²
敷鉄板設置撤去	= 借地面積	142.5 m ²
使用枚数(参考5x20)	$142.5 \text{ m}^2 \div (1.524 \times 6.096) =$ 15.3 枚 ÷	16 枚
参考重量(t=22)	$1.604 \text{ t / 枚} \times 16 \text{ 枚} =$	25.664 t

縮尺 1/300

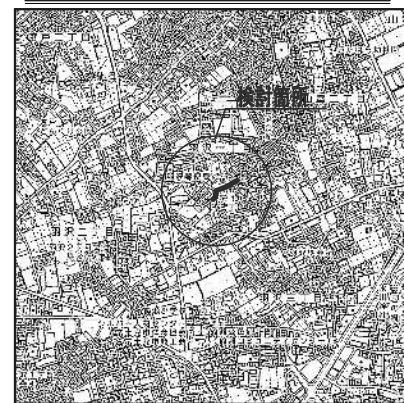


縮尺 縦 1/100
横 1/300



測 点	追加距離	単 距 離	掘 削 深	現 況 管 底 高	計 画 管 底 高	土 被 り	地 盤 高
			管底高-0.75 (0.13+0.02+0.10+0.50)	()番きは計算値			
BP No. 7-1 P-1 No. 7-2-1	-1.70 0.00 1.74 3.75	-1.70 0.00 1.74 2.01	2.037 2.129 2.113	11.45 (11.43) (11.41) (11.33)	11.323 11.311 11.297	0.26 0.35 0.33	12.59 12.61 12.69 12.66
IP-2 IP-3 No. 7-2-1	17.17 18.69 23.11	13.42 1.52 4.42	2.007 2.018 2.148	10.67 10.67 (10.66)	11.203 11.192 11.161	0.23 0.24 0.17	12.46 12.46 12.36
IP-4	27.82	4.71	2.022	(10.65)	10.928	0.24	12.20
IP-5	35.58	7.76	1.966	(10.63)	10.874	0.19	12.09
IP-6	44.38	8.80	1.968	(10.61)	10.812	0.19	12.03
IP-7	50.52	6.14	1.941	(10.59)	10.769	0.16	11.96
IP-8	56.09	5.57	1.890	10.58	10.730	0.11	11.87
IP-9	60.17	4.08	1.829	(10.57)	10.701	0.05	11.78
IP-10	68.82	8.65	1.900	(10.55)	10.640	0.12	11.79
IP-11	76.07	7.25	1.881	10.44	10.589	0.10	11.72
IP-12	84.62	8.55	1.981	(10.51)	10.529	0.20	11.76
EP No. 8-1	88.77	4.15 1.45	1.890 1.45	(10.50) 10.50	10.500	0.11	11.64 11.64

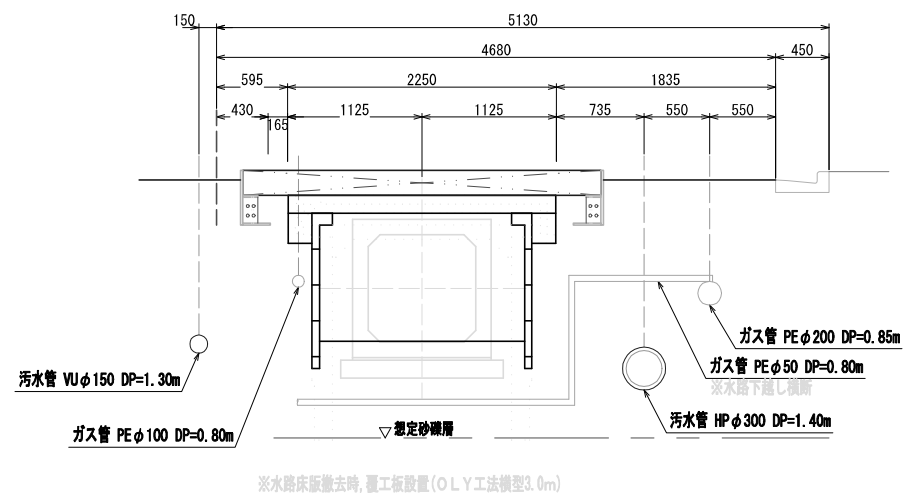
案 内 図 縮尺=1:10000



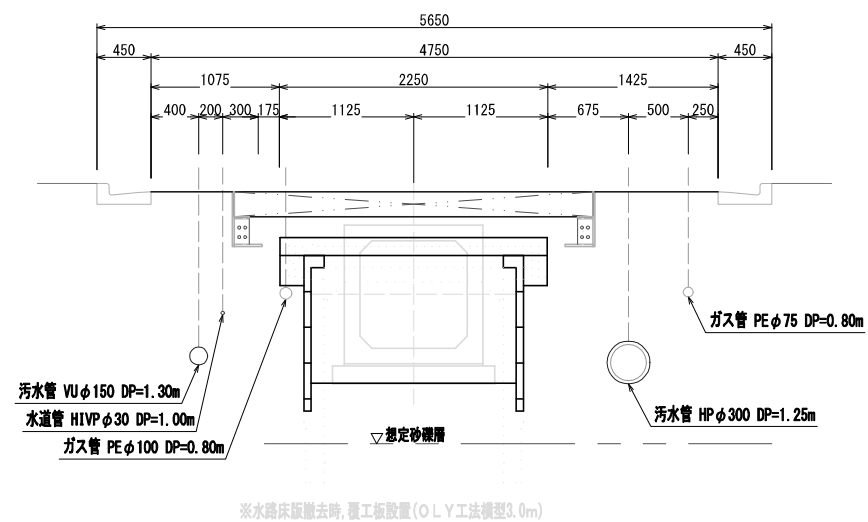
7-1	7-2
工事名	令和7年度 水路改修工事（その2）
工事箇所	富士見市羽沢1丁目地内 市道第386号線外
図面名	平面図・縦断面図
縮 尺	図 示 図 番 号 1/9
富士見市建設部道路治水課	

横断面図 縮尺 1/30

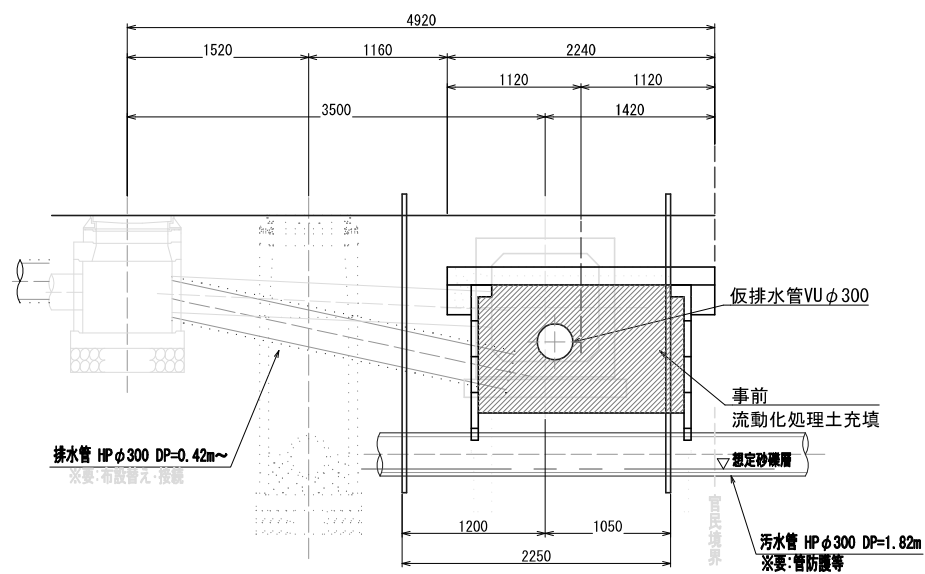
①① 横断面図



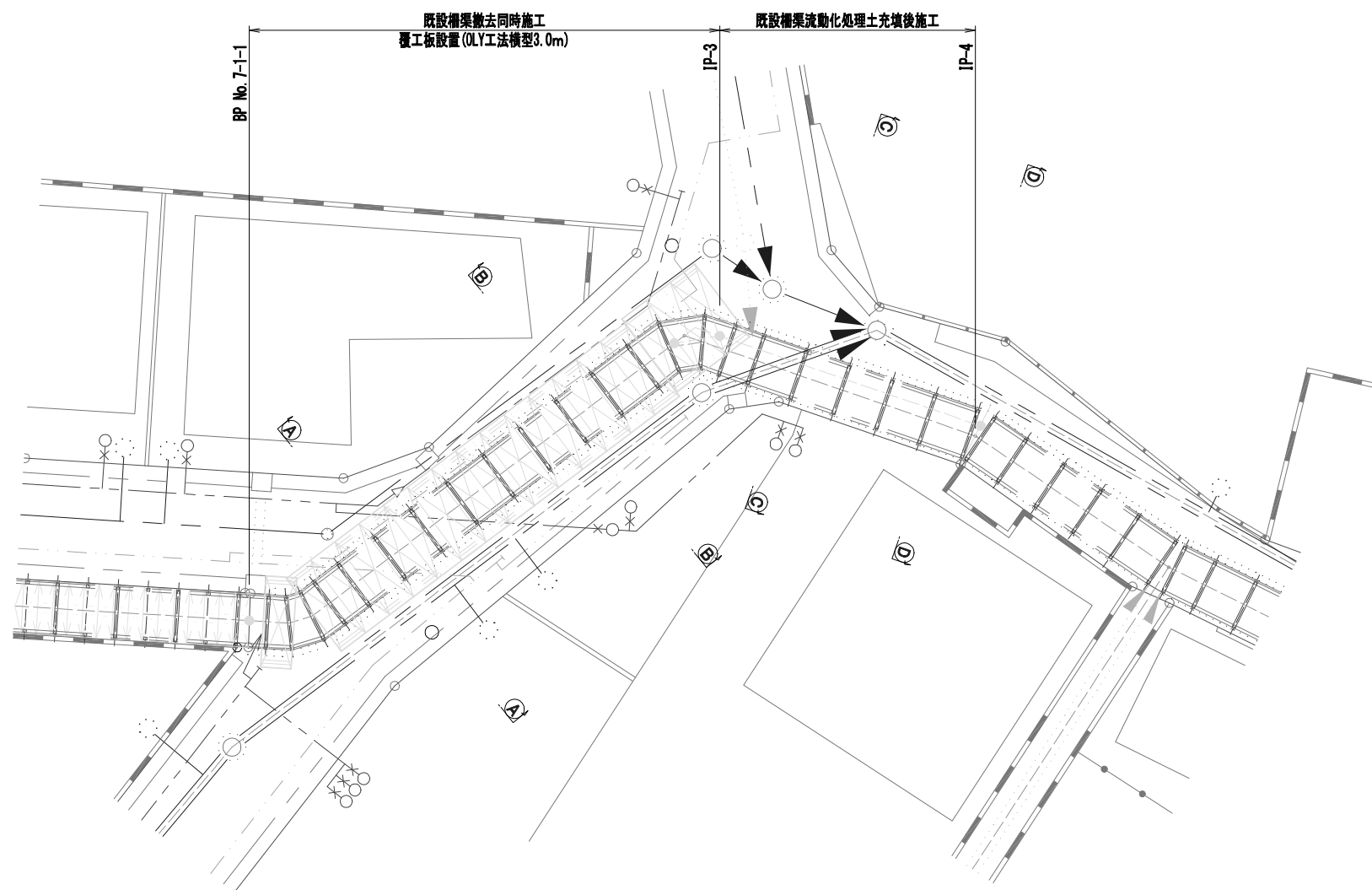
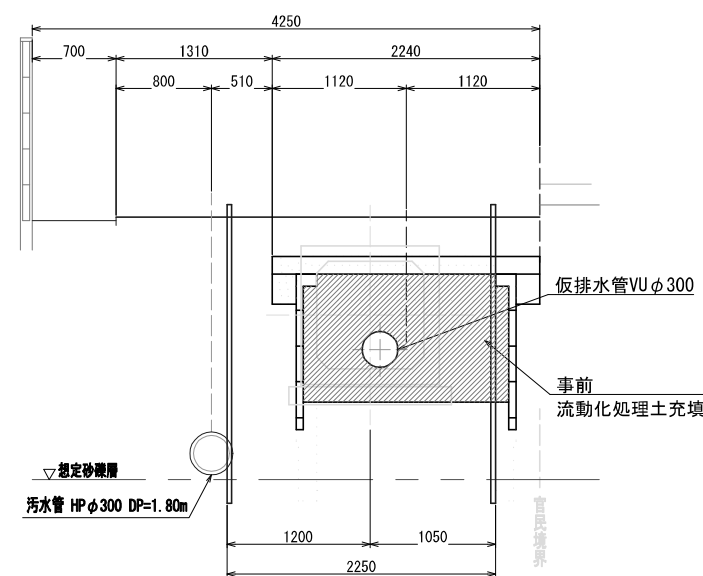
②② 横断面図



③③ 横断面図



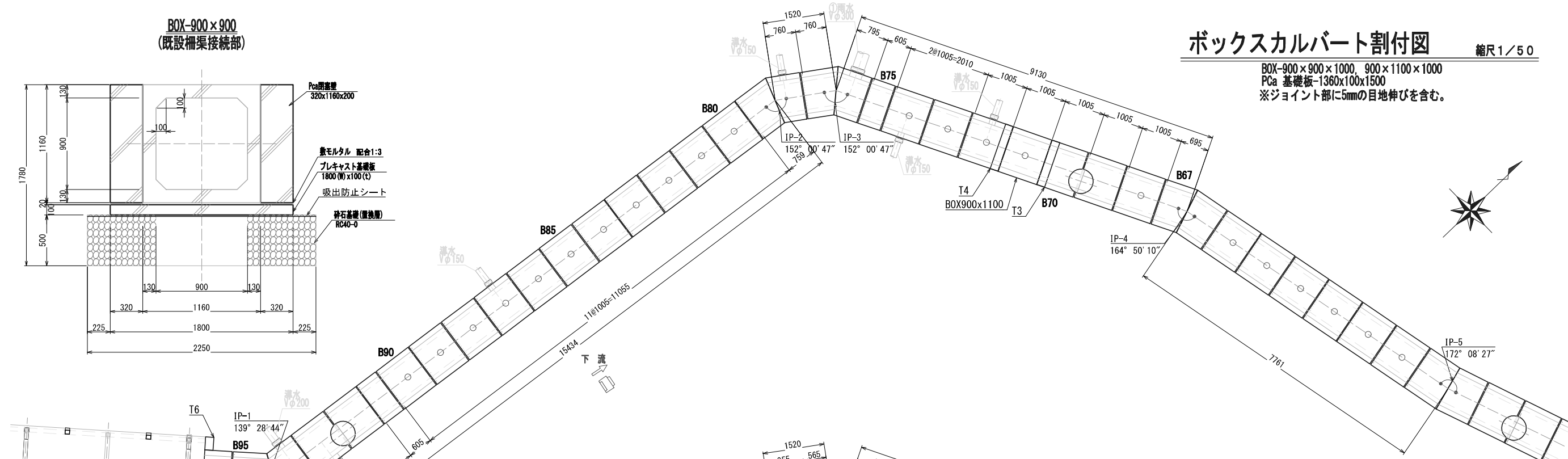
④④ 横断面図



工事名	令和7年度 水路改修工事(その2)		
工事箇所	富士見市羽沢1丁目地内 市道第386号線外		
図面名	横断面図		
縮尺	図示	図番号	2/9
富士見市建設部道路治水課			

ボックスカルバート割付図 縮尺 1/50

BOX-900×900×1000, 900×1100×1000
PCa 基礎板-1360×100×1500
※ジョイント部に5mmの目地伸びを含む。

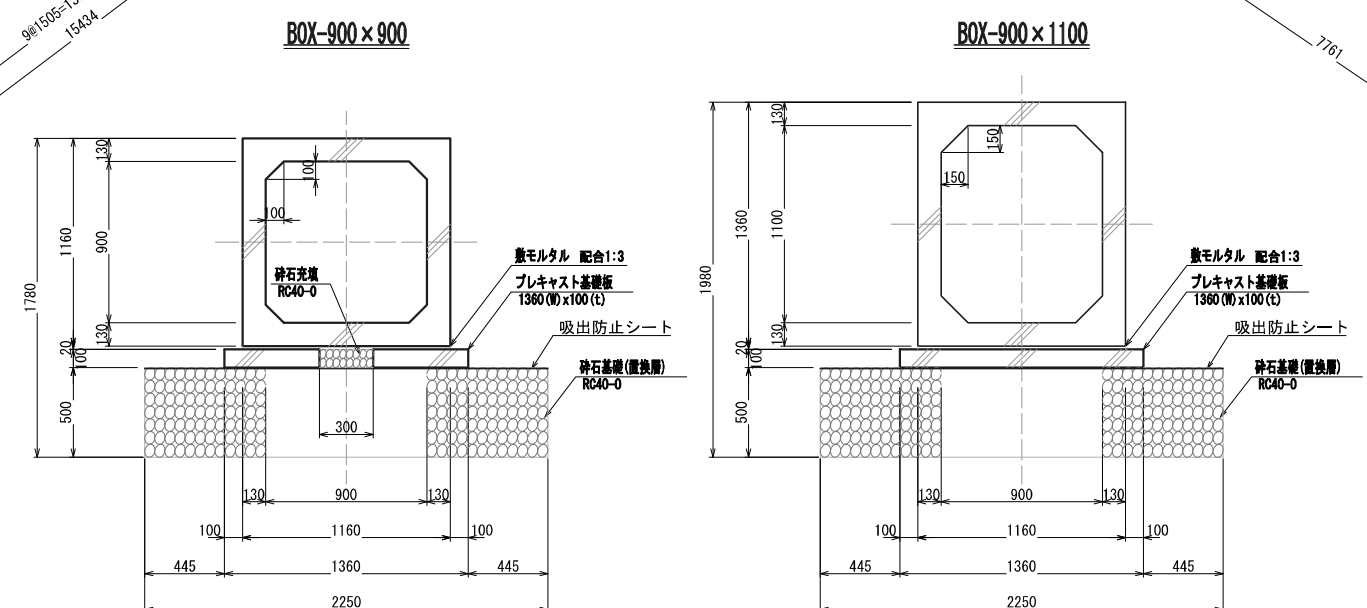


プレキャスト基礎板割付図 縮尺 1/50

BOX-900×900×1000, 900×1100×1000
PCa 基礎板-1360×100×1500
※ジョイント部に5mmの目地伸びを含む。



ボックスカルバート標準構造図 縮尺 1/20



工事名	令和7年度 水路改修工事 (その2)		
工事箇所	富士見市羽沢1丁目地内 市道第386号線外		
図面名	ボックスカルバート割付図		
縮尺	図示	図番号	3/9
富士見市建設部道路治水課			

ボックスカルバート材料表

製品本数表

配列 No.	形 状	長 さ	本 数	備 考
ボックスカルバート	900×900×1000（差口・受口付）			
B67	斜切（受口付） ボルト箱付	767／ 613	1 本	
B68, B73, B74 B80～B90 B75, B91	底版穴明φ150	1000	14 本	
B69, B92, B93	調整用	600	2 本	
	点検孔半明φ600 足場金物付	1000	3 本	
B70	点検孔半明φ600 足場金物付	1000	1 本	
	受口フラット ボルト箱付			
B72	差口フラット ボルト箱付 底版穴明φ150	1000	1 本	
B76	斜切（差口付） ボルト箱付	935／ 645	1 本	
B77	斜切（受口付） ボルト箱付	900／ 610	1 本	
B78	斜切（差口付） ボルト箱付	900／ 610	1 本	
B79	斜切（受口付） ボルト箱付	899／ 609	1 本	
B94	斜切（差口付） ボルト箱付	1214／ 786	1 本	特殊製品長
B95	斜切（受口付） ボルト箱付	1214／ 786	1 本	特殊製品長
B96	受口フラット 閉塞壁連結用インサート付	734	1 本	
合 計			29 本	

配列 No.	形 状	長 さ	本 数	備 考
ボックスカルバート	900×1100×1000（差口・受口フラット 底版穴明φ150）			
B71	ボルト箱付	1000	1 本	
合 計			1 本	

配列 No.	形 状	枚 数	備 考
PCa閉塞壁			
T3, T4	1160×200×200 BOX連結用ボルト箱	2 枚	
T5, T6	320×1160×200 BOX連結用特殊ボルト箱付	2 枚	
合 計		4 枚	

製品本数表

配列 No.	形 状	長 さ	枚 数	備 考
PCa基礎版	1360×100×1500			
K52, K54～K56 K61～K69	開口300×300（2ヶ所）, 300×200（1ヶ所）	1500	13 枚	
K51	斜切	1086／ 904	1 枚	
K53	調整用	905	1 枚	
K57	斜切	1364／1026	1 枚	
K58	斜切	729／ 391	1 枚	
K59	斜切	1119／ 781	1 枚	
K60	斜切	1243／ 905	1 枚	
K70	斜切	1056／ 554	1 枚	
K71	斜切	985／ 483	1 枚	
合 計			21 枚	

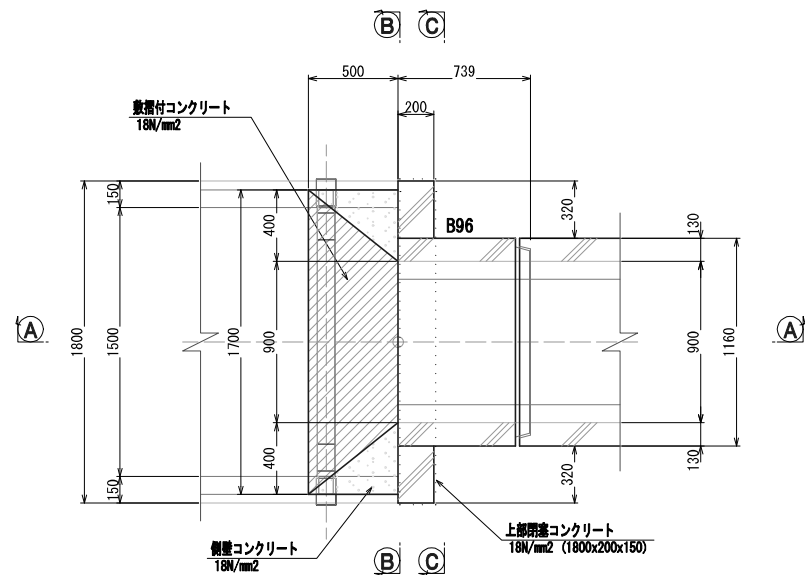
配列 No.	形 状	長 さ	枚 数	備 考
PCa基礎版	1800×100×1500			
K72	調整用	1000	1 枚	
合 計			1 枚	

工事名	令和7年度 水路改修工事（その2）		
工事箇所	富士見市羽沢1丁目地内 市道第386号線外		
図面名	ボックスカルバート材料表		
縮 尺	図 示	図 番 号	4／9
富士見市建設部道路治水課			

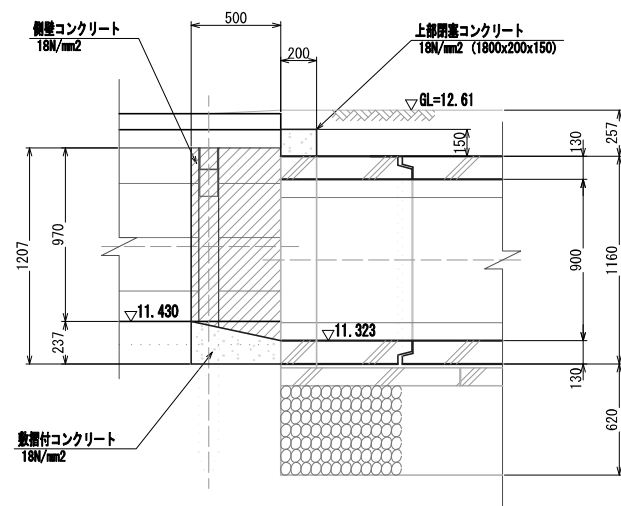
ボックスカルバート詳細図(1/2) 縮尺1/20

No. 7-1-1 既設接続部

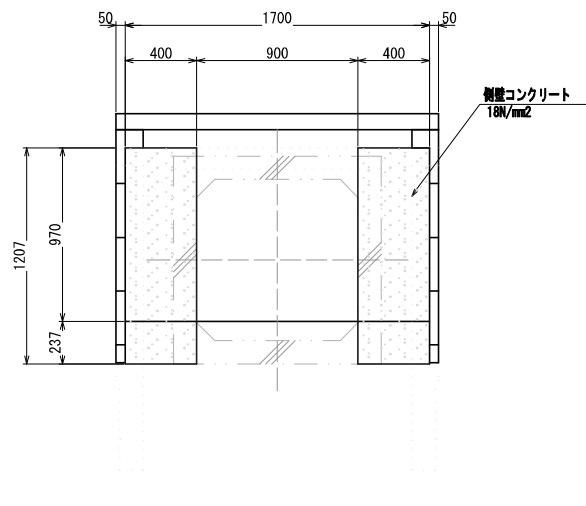
平面図



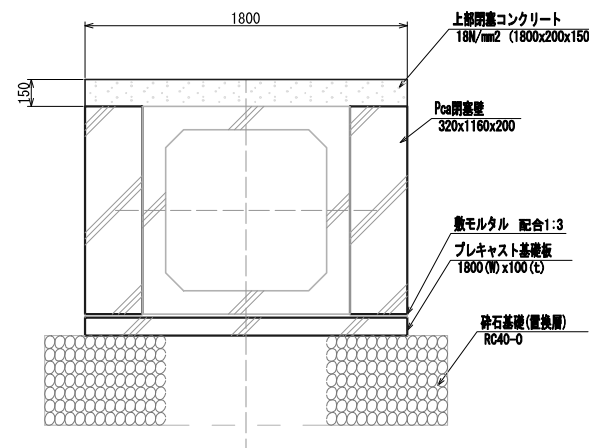
①① 横断面図



②② 横断面図

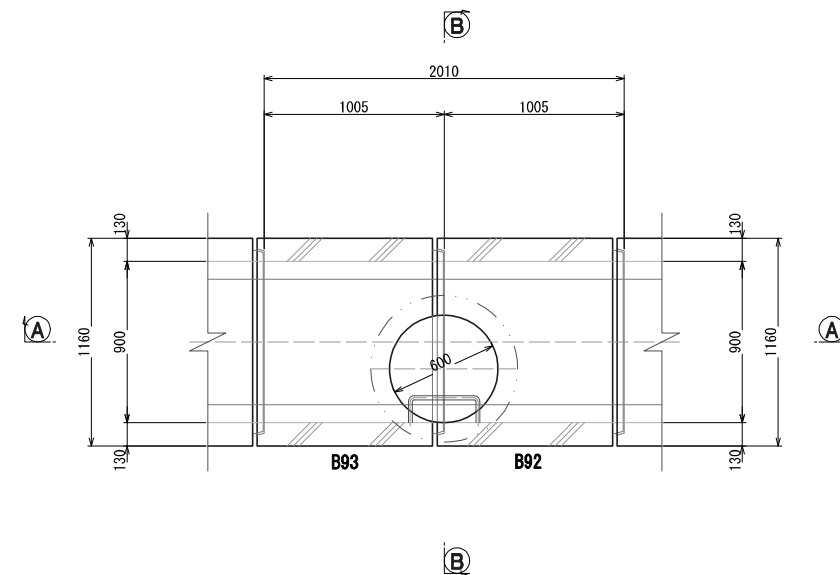


③③ 横断面図

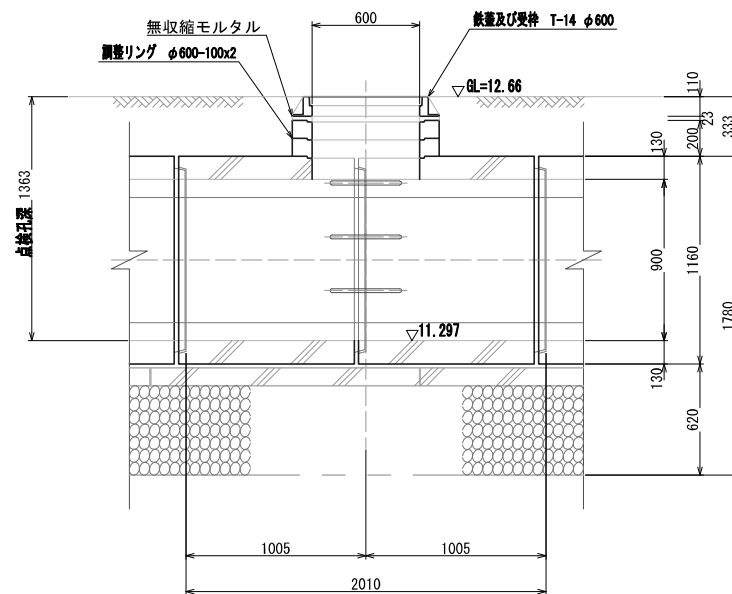


No. 7-1-2 点検孔部

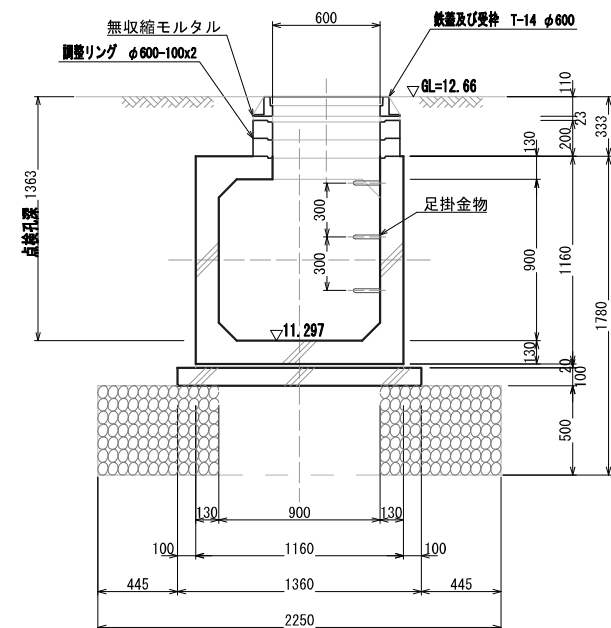
平面図



①① 横断面図



②② 横断面図

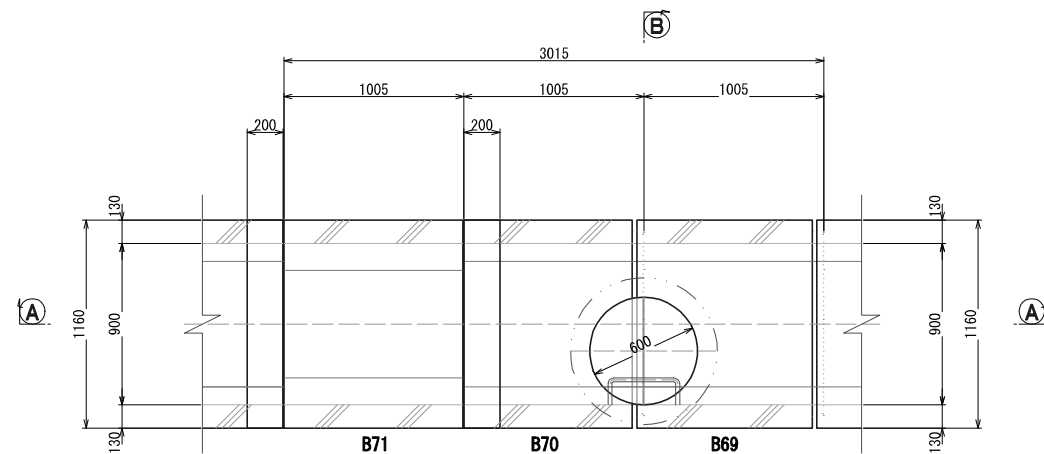


工事名	令和7年度 水路改修工事 (その2)		
工事箇所	富士見市羽沢1丁目地内 市道第386号線外		
図面名	ボックスカルバート詳細図(1/2)		
縮尺	図示	図番	5/9
富士見市建設部道路治水課			

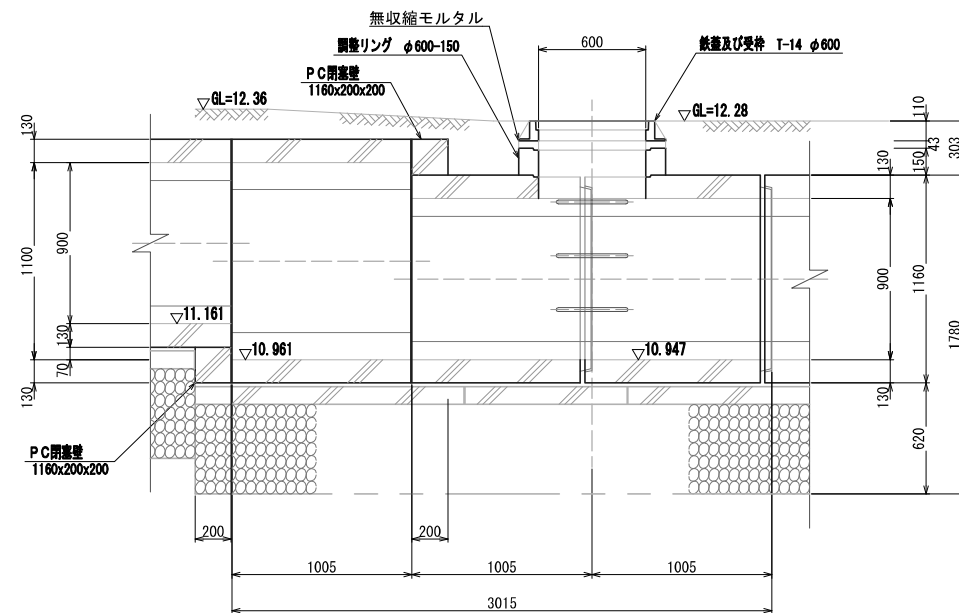
ボックスカルバート詳細図(2/2) 縮尺1/20

No. 7-2-1 落差工部 No. 7-2-2 点検孔部

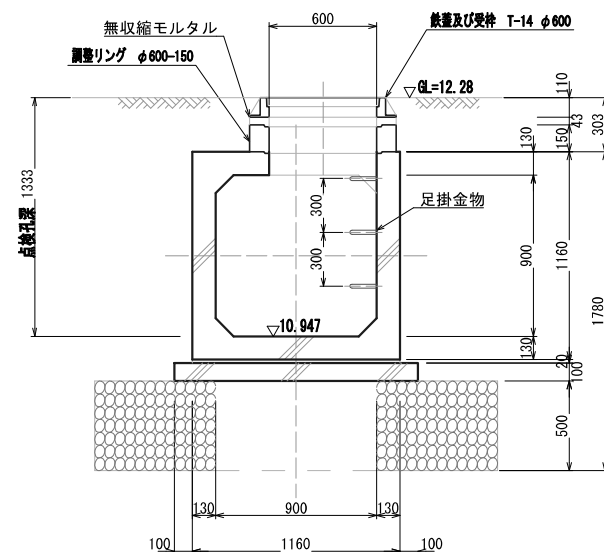
平面図



A-A 横断面図

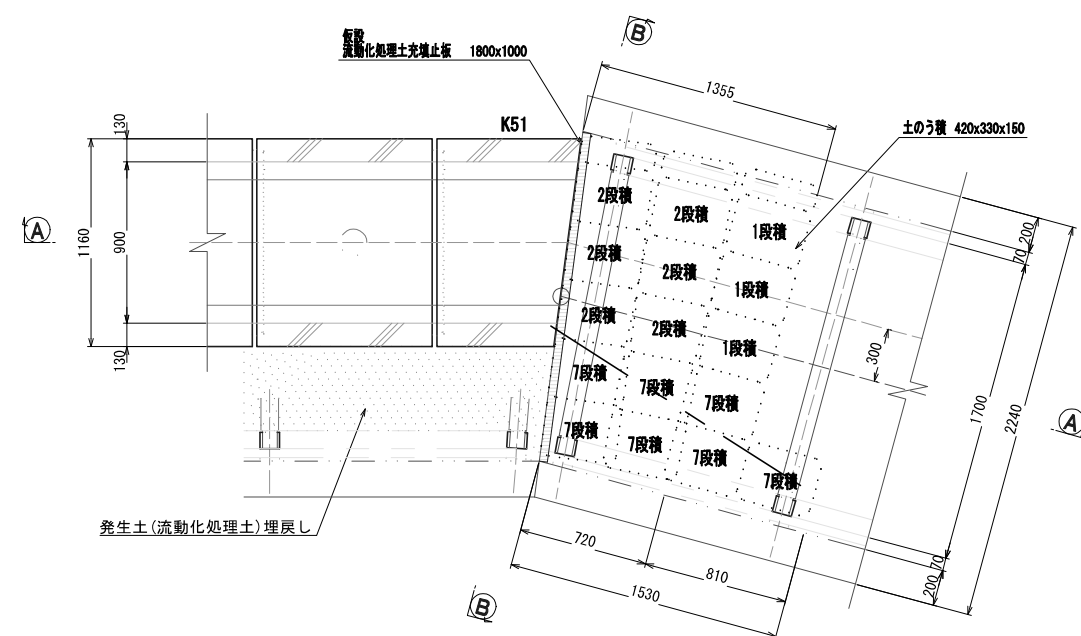


B-B 横断面図

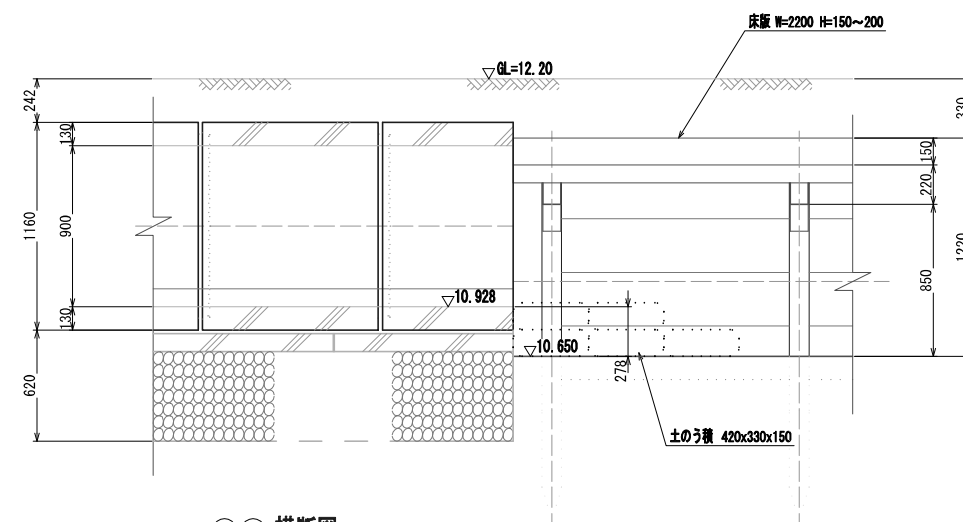


IP-4 (EP) 既設接続部

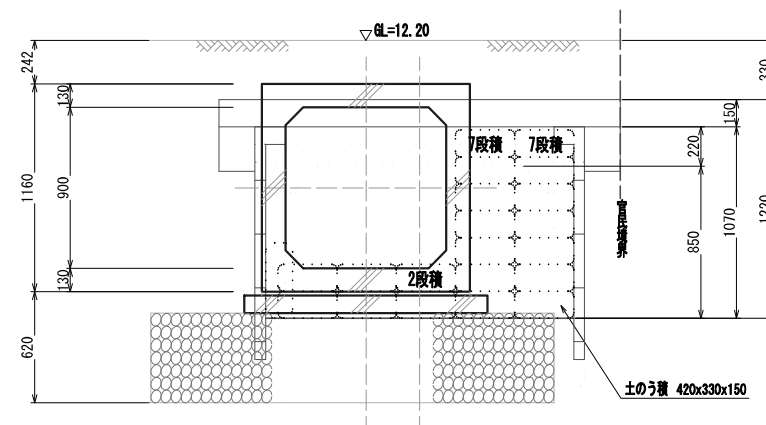
平面図



A-A 横断面図

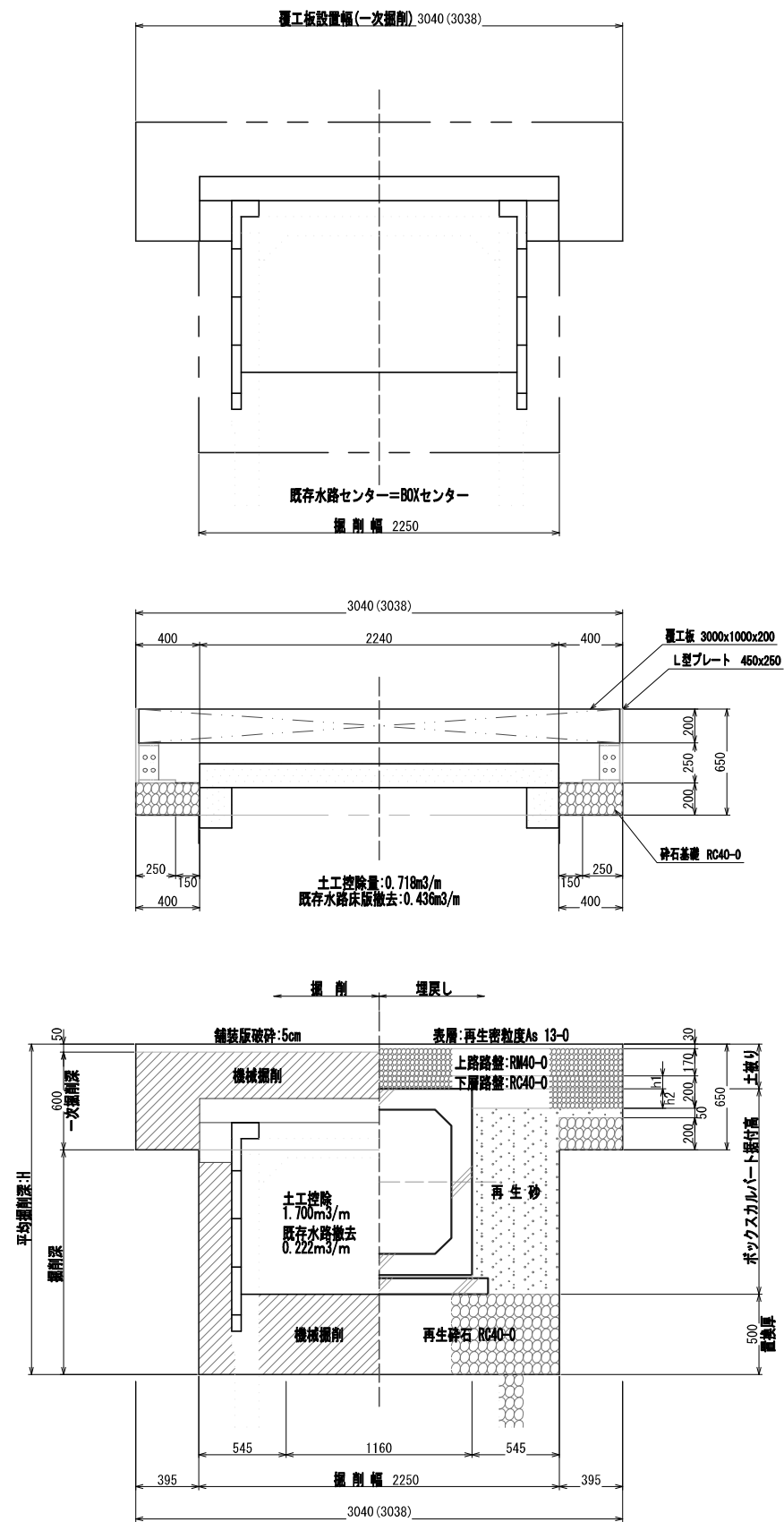


B-B 横断面図

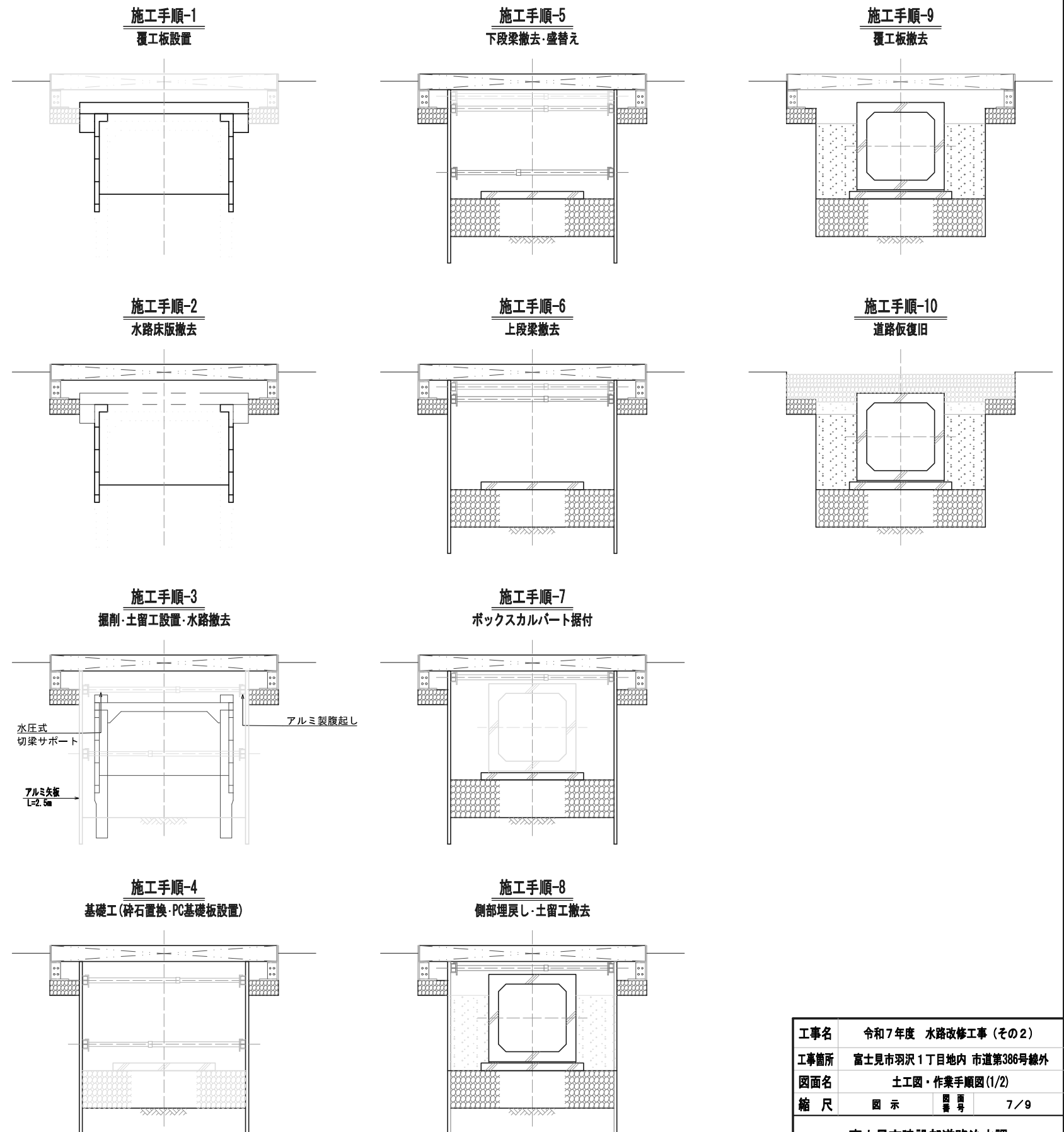


工事名	令和7年度 水路改修工事 (その2)		
工事箇所	富士見市羽沢1丁目地内 市道第386号線外		
図面名	ボックスカルバート詳細図(2/2)		
縮尺	図示	図番	6/9
富士見市建設部道路治水課			

土工事作業区分図 縮尺 1/20
ボックスカルバート据付(1/2)
BP~IP-3

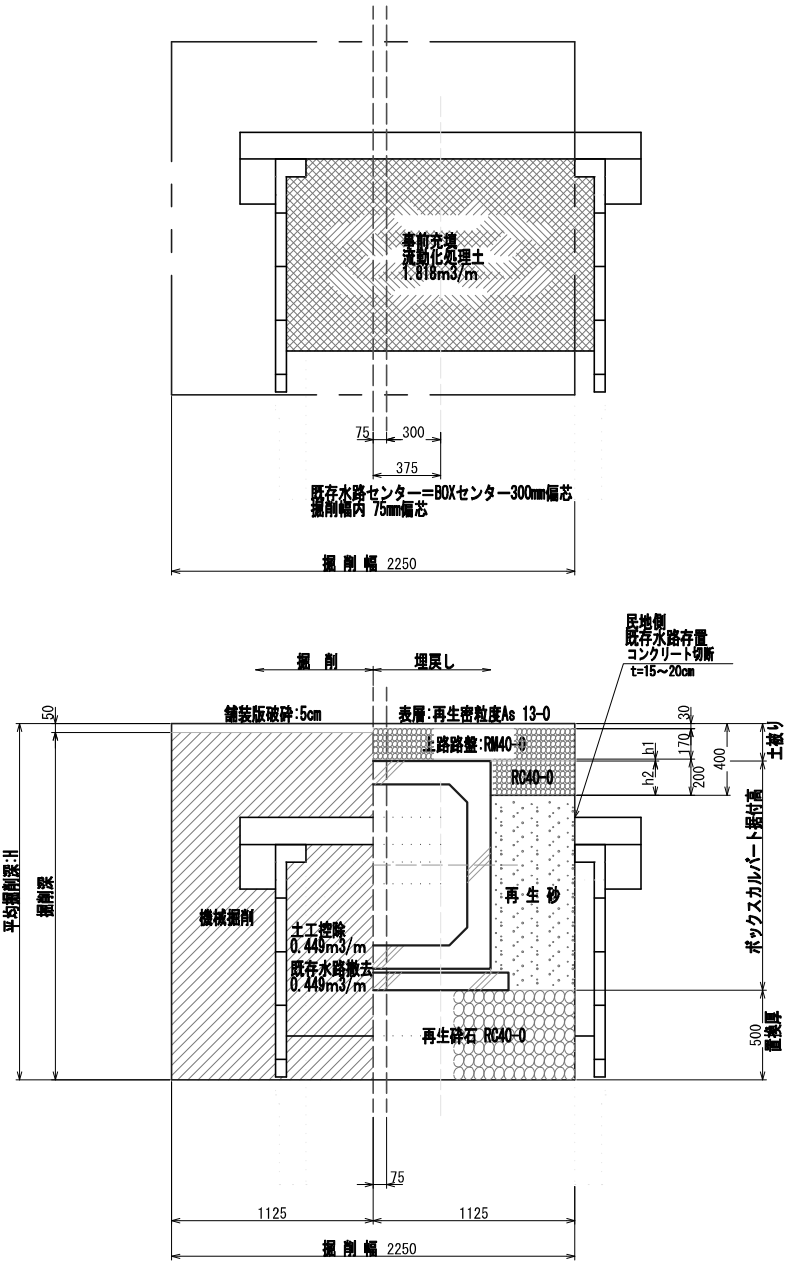


ボックスカルバート据付施工手順図 縮尺 1/30
(土工・土留工・参考図 1/2)

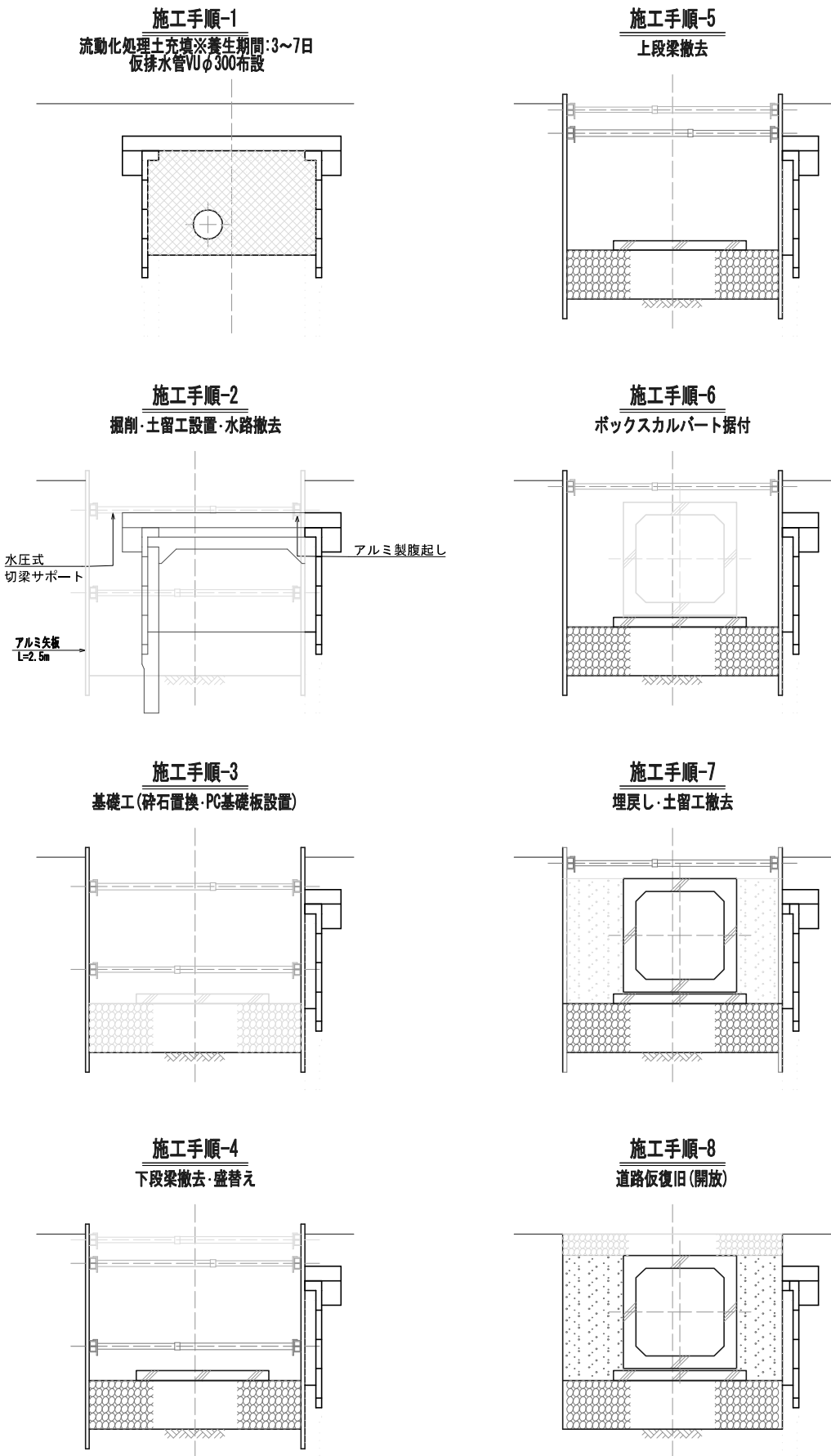


工事名	令和7年度 水路改修工事 (その2)		
工事箇所	富士見市羽沢1丁目地内 市道第386号線外		
図面名	土工図・作業手順図 (1/2)		
縮尺	図示	図番号	7/9
富士見市建設部道路治水課			

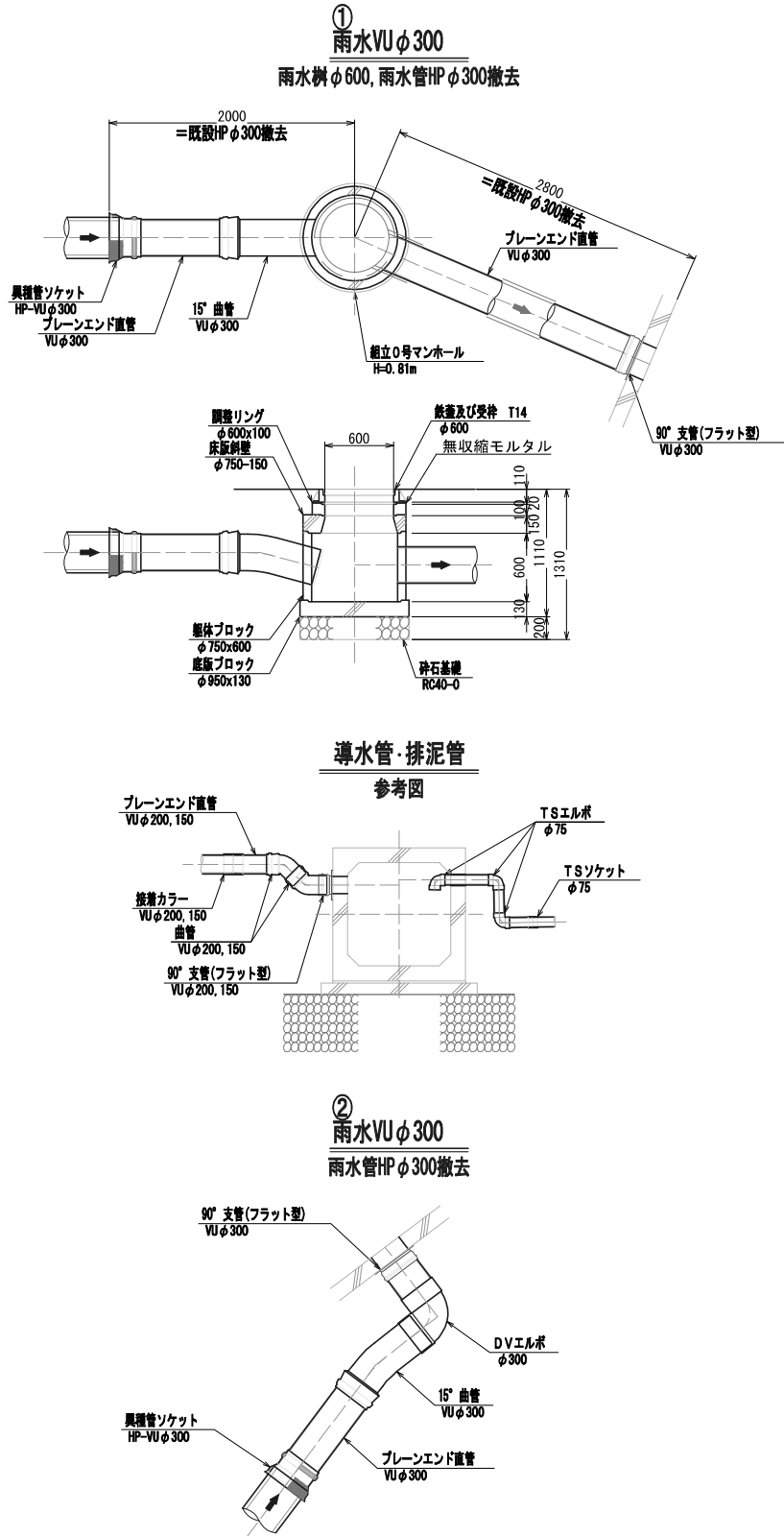
土工事作業区分図 縮尺 1/20
ボックスカルバート据付 (2/2)
IP-3~EP



ボックスカルバート据付施工手順図 縮尺 1/30
(即日復旧・土工・土留工・参考図 2/2)



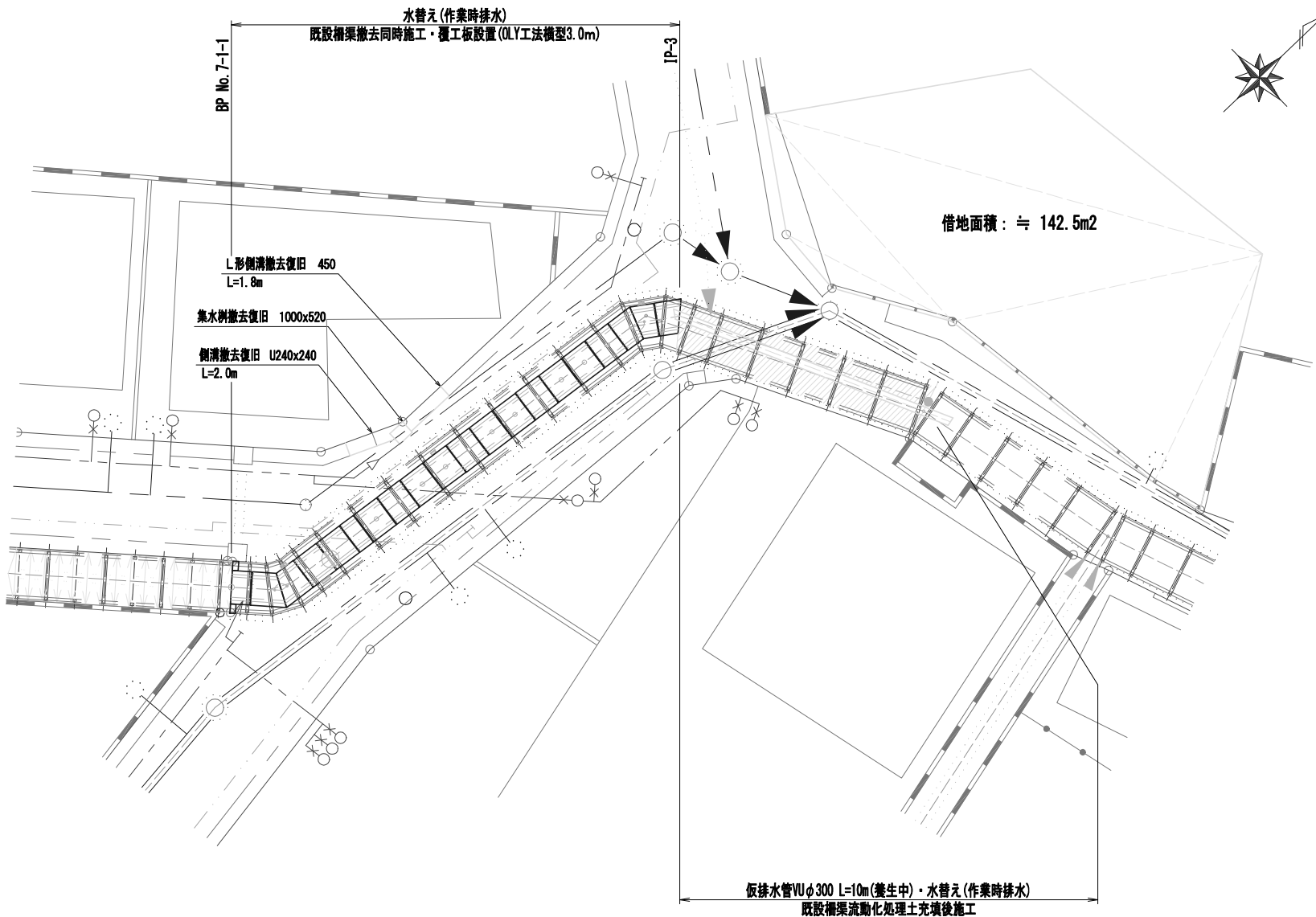
接続管標準図 縮尺 1/30



工事名	令和7年度 水路改修工事 (その2)		
工事箇所	富士見市羽沢1丁目地内 市道第386号線外		
図面名	土工図・作業手順図 (2/2), 他		
縮尺	図示	図番号	8/9
富士見市建設部道路治水課			

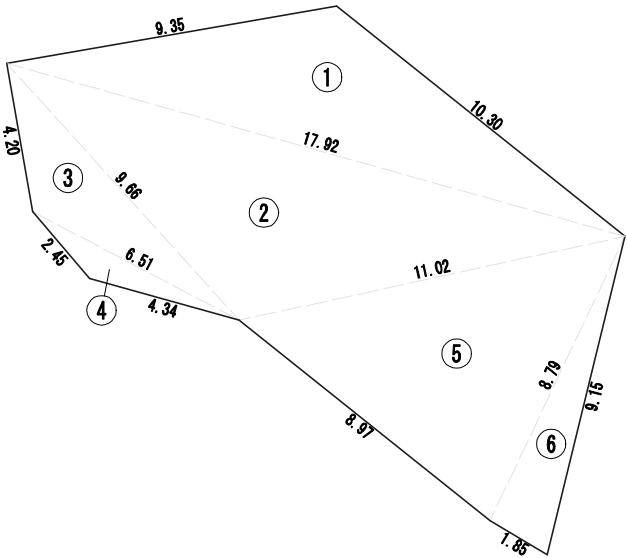
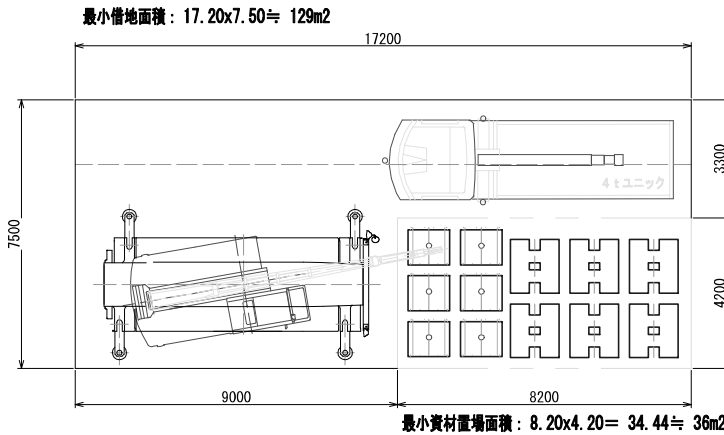
仮設工平面図

縮尺1/100



借地求積図(参考)

縮尺1/100



工事名	令和7年度 水路改修工事(その2)		
工事箇所	富士見市羽沢1丁目地内 市道第386号線外		
図面名	仮設工図・借地図(参考)		
縮尺	図示	図番	9/9
富士見市建設部道路治水課			

特記仕様書

1. 趣旨

本特記仕様書は、埼玉県土木工事実施要覧、埼玉県土木工事共通仕様書に定めるほか、工事に関し必要な事項を定めるものとする。

2. 目的

富士見市羽沢1丁目地内 市道第386号線外において、道路下の劣化した暗渠水路を改修することにより、健全な排水路を確保するとともに当該道路交通の安全性を向上させることを目的とする。

3. 摘要

3-1 本特記仕様書は、次の工事に適用する。

工 事 名：水路改修工事（その2）

工事箇所：富士見市羽沢1丁目地内 市道第386号線外

3-2 本工事における適用基準は以下のとおりとする。

- ・埼玉県土木工事実務要覧【埼玉県】
- ・埼玉県土木工事共通仕様書【埼玉県】

4. 業務内容

4-1 契約数量

本工事の契約数量は、別紙設計図書のとおりとする。なお、受注者は施工に先立ち、本工事の設計図書の照査を行うものとし、この数量に変更が生じる場合は、事前に発注者と協議すること。

4-2 施工条件等

本工事は既設の暗渠水路を新たにボックスカルバートへ敷設替えするものであるが、その性質上周辺住宅や埋設物への影響を考慮し、十分に安全を確保した上で施工すること。

4-3 施工管理

- ①受注者は、工事着手後直ちに測量を実施し、縦断、横断、面積等を確認すること。測量結果により、本工事の設計図書に示されている数値と差異が生じた場合には、測量結果を速やかに提出し指示を受けなければならない。なお、施工条件を十分検討の上、施工順序、工程、工法について、安全が確保されるよう総合的な視点で施工計画を立案し、発注者の承認を受けるものとする。
- ②準備及び後片付け、調査・測量、丁張り、整地、段差擦り付け及びその他施工上軽微な作業は、本工事に含むものとする。

6. 工事現場発生品

6-1 特定建設資材の分別解体

本工事は、建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律（建設リサイクル法）に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

6-2 建設副産物

本工事により発生する指定副産物については、再生資源化施設に搬出すること。また、特定建設

資材の再資源化等をする施設の名称、所在地は以下の表のとおりであるが、積算上の条件明示であり、再資源化施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項については、この限りではない。

廃棄物の種類	施設名	所在地	運搬距離
アスファルト	日本道路(株)	所沢市南永井	6.2 km
コンクリート	リコ・スタイル(株)	三芳町上富	4.7 km
舗装切断濁水	(株)山一商事	川越市下赤坂	8.0 km

6-3 建設発生土

本工事にて使用する改良土については、下記のとおりとするが、下記は積算上の参考処分先であり、施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項については、この限りではない。

改良土の種類	施設名	所在地	運搬距離
石灰改良土	リコ・スタイル(株)	三芳町上富	4.7 km

6-4 産業廃棄物管理票（マニフェスト）の提出

本工事により発生する産業廃棄物については、処分状況等の記録を工事完成図書に添付すること。

7. 関係機関への手続き

本工事の施工にあたり、手続きが必要な場合（道路施工承諾、道路使用許可申請等）は、各関係機関と十分に調整を行い、その申請書類等を作成のうえ、発注者と協議を行なうこと。

なお、本施工箇所には、雨水人孔のほか他企業施設が設置してあることから、測量結果により施設の交換や調整が生じる場合には、事前に関係機関と協議を行うこと。

8. 安全対策

①標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置するほか、道路管理者及び所轄警察署等と必要に応じて協議を行い、実施するものとする。

②現場条件に応じて、工事期間中の安全施設類等の設置状況など、安全確保の状況が判明できるよう写真を撮影し、完成検査時等に提出すること。

③本工事の施行にあたり、一般車両や通行人が危険と判断されるときは、危険防止のための対策を監督員等に報告すること。

④建設機械等のブーム、ダンプトラックのダンプアップ等により構造物に接触等の可能性がある場合は、適切な保安措置を行うこと。

9. 環境対策

①本工事は、低騒音型・超低騒音型の建設機械を使用するものとする。ただし、これにより難しい場合は、必要書類を提出し監督員と協議するものとする。

②工事車両や建設機械のアイドリングストップを励行すること。

省エネルギー、省資源に配慮した建設資材や建設機械等を使用すること。

③ダンプトラック等による過積載を防止すること。また、さし枠の装着など不正改造をしたダンプトラック等が工事現場に出入りすることがないようにすること。

④水路内工事であることから、下流域の水質に与える影響を検証するため、施工に先立ち使用材料

の土壌分析試験を行うこと。

10.地元対策等

- ①施工にあたっては、地元自治会及び周辺住民をはじめ、工事の影響が想定される範囲において、事前周知の徹底および施工時の対応を確実にいき、紛争とならないよう対応を実施すること。なお、後日、紛争となった場合には、受注者の責任において、誠意をもって対応にあたること。
 - ②工事区域は、一般利用者が進入することがないよう、工事関係看板や保安材を適切に配置し、第三者災害やトラブルがないように努め、苦情等については誠意をもって対応にあたり、後日紛争とならないようにすること。
 - ③工事関係車両の出入りについて、工事関係車両が走行するときは、地元車両を優先し、砂埃・騒音・振動等に極力留意するとともに徐行運転し、交通事故を発生させないこと。
 - ④土砂等で周辺道路の路面が汚れたときは、路面清掃を行うこと。
- 施工現場周辺にごみ等を捨てないよう施工現場周辺の美化を徹底すること。